SERENA® CHANGEMAN® VERSION MANAGER™
Web クライアントユーザガイド

Copyright © 2000-2005 Serena Software, Inc. All rights reserved.

本マニュアルとここで説明されているソフトウェアは、ライセンス下で提供されており、ライセンスの条件に従ってのみ使用またはコピーすることが許可されています。ライセンスで許可されていない限り、本書のいかなる部分も、Serena の文書による事前許可なく、いかなる形式または電子的、機械的記録方法で、複写、保存システムへの保管、転送することはできません。複製されたドキュメントには、全部または一部であるかにかかわらず、この著作権の記述すべてが、変更されることなく含まれていなければなりません。

本書の内容は、情報を提供するものであり、予告なく変更される場合があります。また、Serena による義務と解釈されるものではありません。Serena は、本書のエラーまたは不正確性についていかなる責任も義務も負うことはありません。

商標

Serena、ChangeMan、TeamTrack、Collage、PVCS、StarTool および Comparex は、Serena Software, Inc. の登録商標です。Build、Builder、Dimensions、Meritage、Mover、Professional、SAFE、RTM、Tracker および Version Manager は、Serena Software, Inc. の商標です。

その他のすべての製品または企業名は、識別する目的でのみ使用されており、それぞれの所有者の商標である場合があります。

米国政府による使用

米国政府、その機関、および手段用またはそれらに代わって、本同意書のライセンスによって取得されたすべてのソフトウェア製品は、FAR によって定義されている「商用ソフトウェア」です。米国政府による使用、複製、公開は、ソフトウェアを取得したライセンスによる制限の対象となります。製造元：Serena Software, Inc., 2755 Campus Drive, San Mateo, CA 94403

部品番号：MA-VMWEB-J02

発行日：2005 年 4 月

目次

Version Manager へようこそ 5

表記上の規則 5

技術サポートへのお問い合わせ 6

第 1 章 **Version Manager Web クライアントの基礎 7**

Version Manager Web クライアントの概要 8

Version Manager Web クライアントの機能 8

Version Manager Web クライアントのコンポーネント 9

Version Manager Web クライアントおよび
Version Manager の使用法 9

Version Manager Web クライアントと連携した
TrackerLink（Tracker）の使用法 11
TrackerLink の使用法 11

Version Manager Web クライアントと連携した
SourceBridge（TeamTrack）の使用法 13
SourceBridge の使用法 13

Version Manager Web クライアントおよび以前のリリースの使用法 15

必要なシステム構成 16

第 2 章 **ご使用の前に 17**

Version Manager Web クライアントアプレットのインストール 18

Version Manager Web クライアントに接続する 18

プロジェクトデータベースへのログイン 20

パスワードの変更 21

ユーザの変更 22

プロジェクトデータベースからのログアウト 22

第 3 章 **Version Manager Web クライアントウィンドウでの操作 23**

Version Manager Web クライアントの表示部 24
プロジェクト表示部での作業 24
内容表示部での作業 25
リビジョン表示部での作業 26
メニュー表示部での作業 29
ステータス表示部での作業 32

アイテムの選択 33

アイテムの移動 33

アイテム名の変更 34

アイテムの削除 35

アイテムのプロパティの参照 36

表示のフィルタ 37
ファイルの再帰的な表示. 38
ロック設定者によるフィルタ. 38
ワイルドカードファイル名によるフィルタ 39
バージョンラベルによるフィルタ. 40
プロモーショングループによるフィルタ 41
2 つのバージョンラベルを使用した相違点によるフィルタ 43
2 つのプロモーショングループを使用した相違点によるフィルタ 44
バージョンラベルとプロモーショングループを
使用した相違点によるフィルタ. 46
全バージョン管理ファイルの表示（フィルタなし）. 47

第 4 章 **環境のカスタマイズ 49**

Version Manager Web クライアントのオプションの設定 50
デフォルトの Version Manager Web クライアントオプション. 50
1 ページあたりのアイテム数の設定. 51
フィールドに入力するアイテムの区切り文字の指定 52
チェックイン / チェックアウトオプションの定義 52
サブプロジェクトをプロジェクト操作対象に追加 53
正常終了後の画面からの〔Results（結果）〕ダイアログボックスの消去 53
デフォルトエディタの設定. 53

ワークスペースプロパティの設定 54
ワークスペースの設定. 55
作業ファイルの場所の設定. 56
デフォルトリビジョンの定義. 57
自動ブランチの有効化. 57
デフォルトプロモーショングループの定義. 58

第 5 章 **ファイルの比較 61**

ファイルの比較について 62

相違点の表示 62

相違点の解釈 64
相違点の例 65

第 6 章 **ファイルのマージ 67**

マージについて 68
マージの用語と定義. 68
マージプロセス 69
ベースファイルの選択. 69

Windows または UNIX でのファイルのマージ 69

Windows 版での相違点の解釈. 73
プレースホルダ 73
競合 74

UNIX 版での相違点の解釈 75
プレースホルダ 76

Windows 版でのファイル間の競合の解決. 76

UNIX 版でのファイル間の競合の解決 77

索引 79

Version Manager へようこそ

Serena® ChangeMan® Version Manager™ **Web クライアント** をお買い上げいただきありがとうございます。Version Manager は、ソフトウェアの開発手法に革命的な変化をもたらす、多機能で強力なバージョン管理システムです。個々のファイルへの変更の保存や追跡から開発サイクル全体の管理や監視に至るまで、ソフトウェア開発プロジェクトの各段階を構成管理および保守管理を行うことができます。

このマニュアルの内容

このマニュアルは、ブラウザベースのインターフェイスである Version Manager Web クライアントについて、概要を紹介し、Version Manager デスクトップクライアントとの違いを示し、基本的な使用方法を説明することを目的としています。このマニュアルは、『*Serena ChangeMan Version Manager ユーザガイド*』および Version Manager Web クライアントのオンラインヘルプを補完するものです。『Serena ChangeMan Version Manager ユーザガイド』は、Version Manager の機能と概念に関する主な情報源として作成されたマニュアルです。

Version Manager Web クライアントを使い始めた後は、オンラインヘルプを参照して、ファイルの確認、バージョンラベルの管理、プロジェクトへの作業ファイルの追加など、日常作業を実行する方法の詳細を確認してください。

詳細情報

Version Manager のマニュアル類、Version Manager のおおまかな操作方法、およびオンラインヘルプの使用方法については、『Serena ChangeMan Version Manager 入門ガイド』を参照してください。

対応バージョン

この版の内容は、Version Manager Web クライアントのリリース 8.1 以降に準拠しています。この版によって、このマニュアルの旧版は廃版となります。

表記上の規則

オンラインマニュアルおよびオンラインヘルプでは、以下の表記規則を採用しています。ドキュメントを参照する場合は、これらの表記規則を参考にしてください。ただし、各種製品コンポーネントおよびオペレーティングシステムについては、それぞれの表記規則に従ってください。

表記例	意味
モノスペース	構文例、ユーザ指定が可能な値、システムから返される結果値などを表します。
モノスペース斜体	ユーザが特定の値を指定する箇所を表します（例：*filename*）。
モノスペース太字	実行されたコマンドの結果を表します。
縦線（|）	メニューとそれに関連付けられたコマンドを区切ります。たとえば、[File（ファイル）] | [Copy（コピー）] は、[File（ファイル）] メニューの [Copy（コピー）] を選択することを意味します。 また、コマンド構文でどちらか一方を選択する必要のある情報を示します。
角括弧 [ ]	指定が必須ではないオプションの項目を示します。たとえば、SELECT [DISTINCT] の DISTINCT はオプションのキーワードです。

表記例	意味
...	2 つ以上の値を指定できるコマンド引数を示します。
	クリックするショートカットアイコンを示します。 ショートカットアイコンは余白に置かれます。

技術サポートへのお問い合わせ

ユーザ登録が完了すると、http://support.serena.com/ にログインできます。

第 1 章

Version Manager Web クライアントの基礎

Version Manager Web クライアントの概要	8
Version Manager Web クライアントの機能	8
Version Manager Web クライアントのコンポーネント	9
Version Manager Web クライアントおよび Version Manager の使用法	9
Version Manager Web クライアントと連携した TrackerLink（Tracker）の使用法	11
Version Manager Web クライアントと連携した SourceBridge（TeamTrack）の使用法	13
Version Manager Web クライアントおよび以前のリリースの使用法	15
必要なシステム構成	16

Version Manager Web クライアントの概要

Serena ChangeMan Version Manager Web クライアントは、Version Manager の Web ベースのクライアントコンポーネントで、インターネットまたはイントラネット経由で Version Manager プロジェクトにアクセスすることができます。Version Manager Web クライアントは、Version Manager の Web ベースのサーバコンポーネントである VM サーバと連携して動作します。

Version Manager Web クライアントを使用すると、Web ブラウザ経由で、プロジェクトおよびアーカイブの詳細情報の表示、ファイルのチェックインおよびチェックアウト、ロック、バージョンラベルおよびプロモーショングループの管理、レポートの作成などのタスクを実行することができます。

Version Manager Web クライアントでは、インターネットまたはイントラネット上の任意の接続ポイントから Version Manager プロジェクトにアクセスできるため、リモートユーザ、モバイルユーザ、およびインターネットプログラミングチームやインターネットコンテンツ開発チームのメンバーなどの、Web 集中型環境にあるユーザに最適です。

また、軽量 Web ブラウザインターフェイスであるため、すべての環境のユーザと管理者にとって、非常にメンテナンスコストが低いという利点があります。

Version Manager Web クライアントの機能

Version Manager Web クライアントは、Version Manager の基本的なエンドユーザ用バージョン管理機能を提供しており、管理機能にアクセスする必要のないユーザ用に設計されています。

Serena ChangeMan Version Manager Web クライアントのオンラインヘルプで、各種機能を使用する手順が詳細に説明されています。

Version Manager Web クライアントには、次の機能があります。

- **作業ファイルの追加**：1 つ以上の作業ファイルをプロジェクトデータベースまたはプロジェクトに追加することができます。また、サブディレクトリを含むディレクトリ全体を追加することもできます。追加されたディレクトリは、プロジェクトデータベース内の、サブプロジェクトを含むプロジェクトになります。
- **プロジェクトの作成**：既存の作業ファイル構造以外の各種ディレクトリ構造に新しいプロジェクトを手動で作成します。
- **チェックイン**および**チェックアウト**：ファイルのアーカイブへのチェックインとチェックアウトを行います。
- **取得**：リビジョンをチェックアウトせずにそのコピーを取得します。
- **ロック**および**ロック解除**：ファイルのリビジョンをロックおよびロック解除します。
- **バージョンラベル**：バージョンラベルの割り当て、変更、削除を行います。
- **プロモーショングループ**：リビジョンをプロモートし、プロモーショングループの割り当て、変更、解除を行います。
- **履歴レポート**：アーカイブについて詳細なレポートを作成します。
- **相違点レポート**：2 つのリビジョンまたは 2 つの作業ファイルを比較したり、作業ファイルとリビジョンを比較したりします。
- **ファイルのマージ**：2 つのリビジョンまたは 2 つの作業ファイル、または作業ファイルとリビジョンをマージします。
- **オプション**：デフォルトのダイアログボックスオプションと表示オプションを設定します。

- **コピー**および**移動**：プロジェクトデータベース内のプロジェクト間でバージョン管理ファイルをコピーまたは移動します。
- **ワークスペース**：パブリックワークスペースまたはプライベートワークスペースを設定、名称変更および削除することができます。
- **名前の変更**：プロジェクトの名前および Version Manager 5.3/6.0 フォルダの名前を変更します。
- **削除**：プロジェクト、Version Manager 5.3/6.0 フォルダ、およびバージョン管理ファイルをインターフェイスから削除します。
- **パスワードの変更**：プロジェクトデータベースにログインするために使用するパスワードを変更することができます。アクセスコントロールデータベースが所定の位置にある場合は、これによって、Version Manager のパスワードも変更されます。

Version Manager Web クライアントのコンポーネント

Version Manager サーバコンポーネント、サポートされる Web サーバ、そして Version Manager Web クライアントコンポーネントの統合サービスにより、インターネットまたはイントラネットを通じて、アーカイブにアクセスできます。

Version Manager Web クライアントを使用する前に、Serena 製品管理者は Web サーバが稼動するシステムに VM サーバコンポーネントをインストールする必要があります。VM サーバを Version Manager のプロジェクトで使用するように設定すると、管理者から配布される URL を使用して、Version Manager Web クライアントアプレットをインストールすることができます。

ブラウザ設定によっては、クライアントアプレットのインストールを続行するかどうかを問い合わせる警告ダイアログまたは確認ダイアログが表示されます。アプレット実行時にも同様のダイアログが表示される場合があります。クライアントアプレットのダウンロードおよびインストールの詳細については、第 2 章、17 ページの「ご使用の前に」を参照してください。

一度、クライアントアプレットがインストールされると、Web ブラウザの中から、Version Manager Web クライアントインターフェイスにログインし、プロジェクトの詳細情報を表示したり、アクションを実行したりすることができます。

Version Manager Web クライアントおよび Version Manager の使用法

プロジェクトデータベースに対するすべての管理タスクは、Version Manager を使用して実行する必要があります。管理タスクには、プロジェクトデータベースまたはルートの作成と設定、セキュリティの定義、およびプロモーションモデルのセットアップが含まれます。

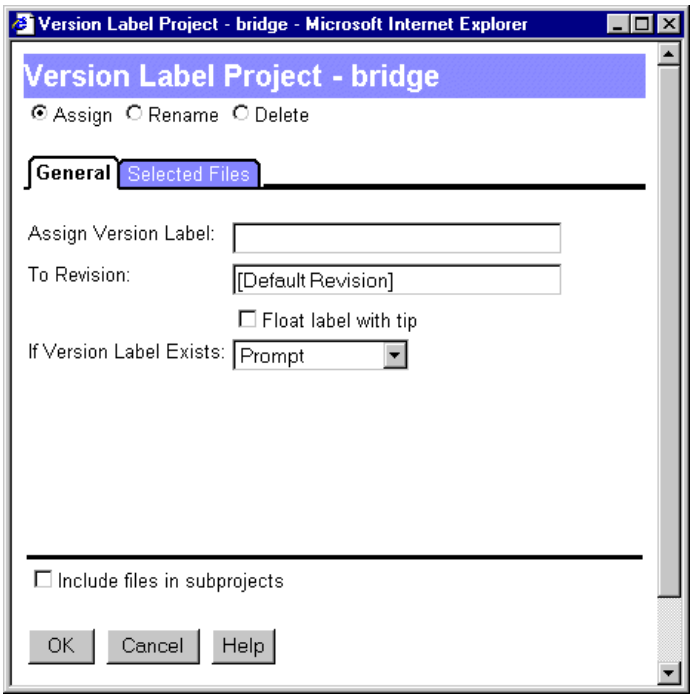
Version Manager Web クライアントでのファイルのチェックアウトや作業ファイルの追加など、ほとんどのエンドユーザタスクでは、Version Manager デスクトップクライアントと同じ手順に従います。この手順は Version Manager Web クライアントのオンラインヘルプに記載されています。ただし、バージョンラベルおよびプロモーショングループなどのタスクについては、手順が一部異なります。

バージョンラベルおよびプロモーショングループ

Version Manager でバージョンラベルおよびプロモーショングループに対する作業を行う場合は、実行する特定の操作をメニューから選択します。たとえば、[Actions（アクション）] － [Version Label（バージョンラベル）] － [Assign（割り当て）] を選択してバージョンラベルを割り当てたり、[Actions（アクション）] － [Promotion Group（プロモーショングループ）] － [Remove（削除）] を選択してプロモーショングループを削除したりします。

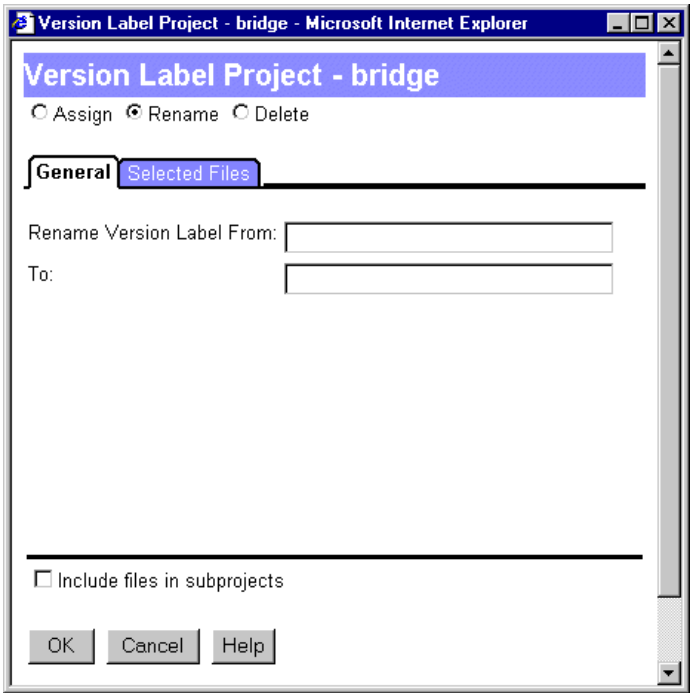
Version Manager Web クライアントでは、バージョンラベルおよびプロモーショングループに対するすべての操作は、[Actions（アクション）] メニューで [Label（ラベル）] または [Promote（プロモート）] を選択して実行します。〔Version Label（バージョンラベル）〕または〔Promotion Group（プロモーショングループ）〕ダイアログボックスの最上部で、実行する操作を選択します。ダイアログボックスの内容は、選択した項目によって変わります。

たとえば、[Actions（アクション）] メニューの [Label（ラベル）] を選択すると、以下のダイアログボックスが表示されます。デフォルトでは、〈Assign（割り当て）〉オプションが選択され、ダイアログボックスには、その操作に対応した内容が表示されます。



注記 バージョンラベルは、リビジョン番号とまぎらわしく**ない**値にしてください。

〈Rename（名前の変更）〉オプションを選択すると、ダイアログボックスの内容が変わります。



Version Manager Web クライアントと連携した TrackerLink（Tracker）の使用法

Version Manager Web クライアントまたは Version Manager デスクトップクライアントで TrackerLink を使うことにより、作業ファイルを Serena Tracker 内の Issue に関連付けることができます。TrackerLink は、Tracker と Version Manager を結び付けるツールとして使用します。チェックイン時、チェックアウト時、ロック時、または作業ファイル追加時に、〔TrackerLink Workfile Association（TrackerLink 作業ファイルの関連付け）〕ダイアログボックスで、その作業ファイルを Issue に関連付けることができます。

TrackerLink の設定

TrackerLink を使用するには、事前に管理者による以下の作業が必要です。

- TrackerLink オプションを設定します。詳細については、『*Serena ChangeMan Version Manager 管理者ガイド*』を参照してください。
- Version Manager プロジェクトデータベースに対するサーブレットを Tracker データベースの URL に関連付けます。詳細については、『*Serena ChangeMan Version Manager インストールガイド*』を参照してください。

TrackerLink の使用法

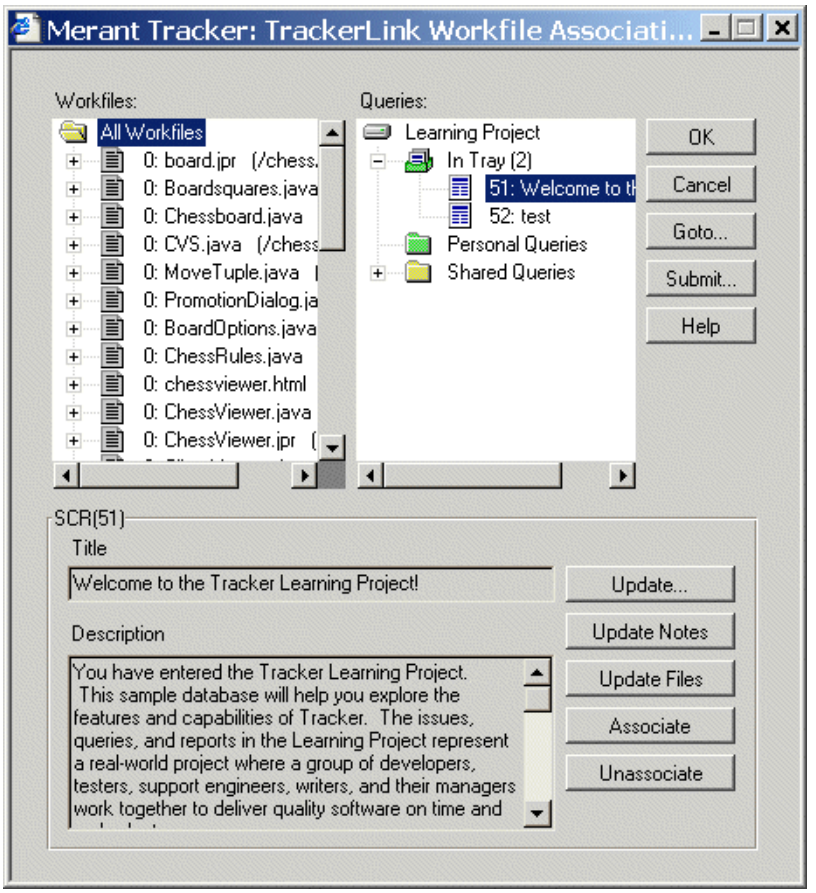
以下の作業の場合、TrackerLink を使用して、Issue を作業ファイルに関連付けます。

- ファイルのチェックアウト
- ファイルのチェックイン
- ファイルのロック
- 新規作業ファイルの追加

自動的に Tracker にログインしない設定では、作業ファイルに関連付けを行うときに、ログイン情報の入力を求められます。

チェックイン、チェックアウト、ロックまたは作業ファイルの追加時に、Issue を作業ファイルに関連付けるには、以下の操作を行います。

1. Issue に関連付けるファイルを選択します。
2. チェックイン、チェックアウト、作業ファイルの追加、またはロックを行います。
3. 〔Check Out（チェックアウト）〕、〔Check In（チェックイン）〕、〔Lock（ロック）〕、または〔Add Workfiles（作業ファイルの追加）〕ダイアログボックスで【Associate Issues（Issue の関連付け）】ボタンをクリックします。〔TrackerLink Workfile Association（TrackerLink 作業ファイルの関連付け）〕ダイアログボックスが開きます。



4. **Queries（クエリー）**表示部のクエリーを選択してクエリーを実行し、作業ファイルに関連付ける Issue を検索、選択します。または、受信トレイ内を検索します。
5. **Workfiles（作業ファイル）**表示部で、Issue に関連付ける作業ファイルを選択します。
6. 作業ファイルに関連付ける最初の Issue 番号をダブルクリックします。これにより Issue が作業ファイルに関連付けられ、作業ファイル名の左に表示される番号が 1 つカウントアップして表示されます。【Associate（関連付け）】ボタンを選択しても、Issue と作業ファイルを関連付けられます。
7. 作業ファイル名をダブルクリックして、現在関連付けられている Issue を表示できます。そのタイトルとコメントが表示された場合、その Issue は現在選択されています。

8 関連付けを取り消す場合、以下の操作が可能です。

- Workfiles（作業ファイル）表示部で Issue 番号をダブルクリックして、関連付けを取り消します。
- Issue を選択し、【Unassociate（関連付けの解除）】ボタンを選択します。

注記 複数のファイルを、1 つの Issue に同時に関連付けられます。しかし、クエリーを選択して、マッチするすべての Issue を作業ファイルに関連付けることはできません。Issue は個々に選択する必要があります。

ファイルに関連付けがない場合、現在の作業ファイルの隣に「+」符号が付いています。これを選択すると、「(no associations)（関連付けられていません）」が、その下に表示されます。

Tracker Web クライアントの起動

〔Actions（アクション）〕タブで〈Tracker〉アイコン をクリックして Tracker Web クライアントを起動することができます。

Version Manager Web クライアントと連携した SourceBridge（TeamTrack）の使用法

Version Manager Web クライアントまたは Version Manager デスクトップクライアントで SourceBridge を使うことにより、作業ファイルを Serena TeamTrack 内の Issue に関連付けることができます。チェックイン時、チェックアウト時、ロック時、または作業ファイル追加時に、その作業ファイルを TeamTrack 内の Issue に関連付けることができます。

SourceBridge の設定

SourceBridge を使用するには、事前に管理者による以下の作業が必要です。

- SourceBridge オプションを設定します。詳細については、『*Serena ChangeMan Version Manager 管理者ガイド*』を参照してください。
- Version Manager プロジェクトデータベースに対するサーブレットを TeamTrack データベースの URL に関連付けます。詳細については、『*Serena ChangeMan Version Manager インストールガイド*』を参照してください。

SourceBridge の使用法

以下の作業の場合、SourceBridge を使用して、Issue を作業ファイルに関連付けます。

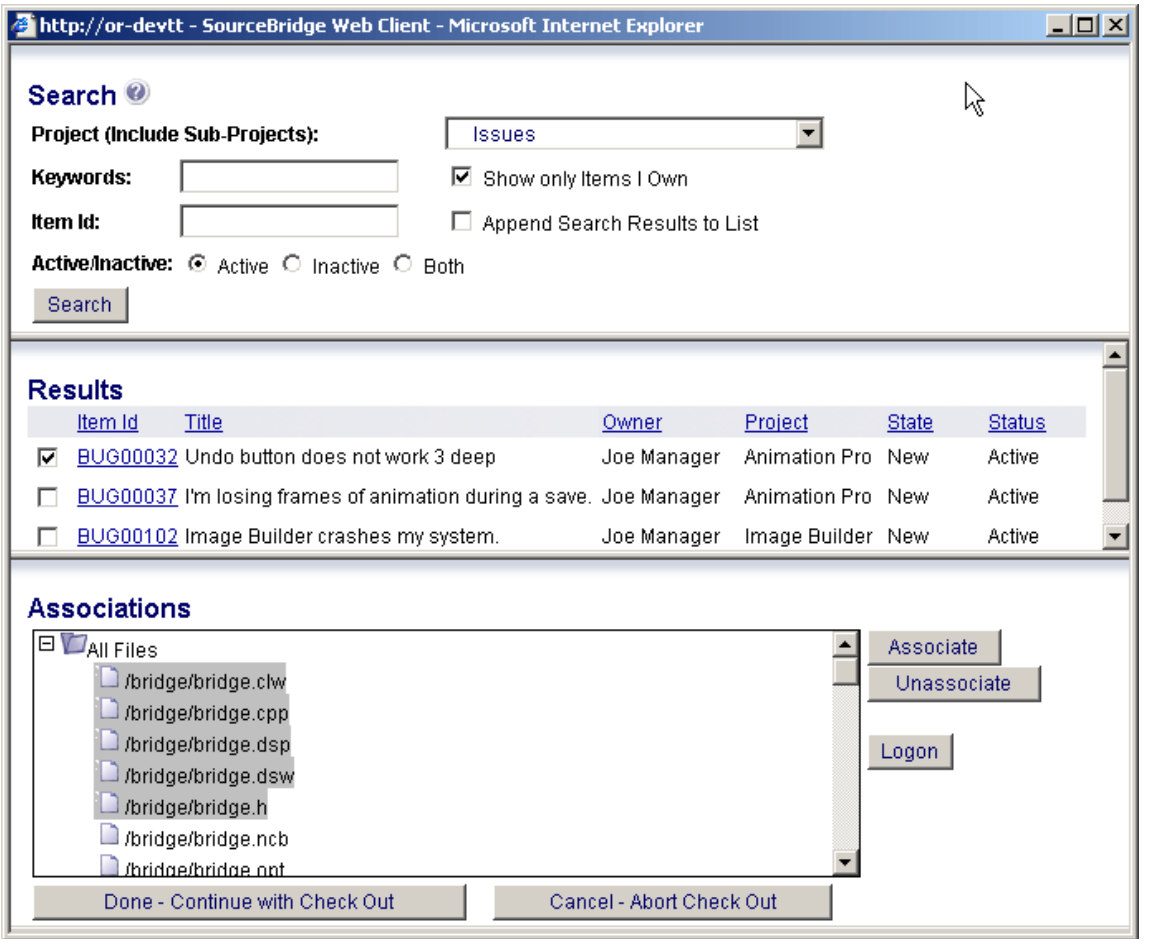
- ファイルのチェックアウト
- ファイルのチェックイン
- ファイルのロック
- 新規作業ファイルの追加

チェックイン、チェックアウト、ロックまたは作業ファイルの追加時に、Issue を作業ファイルに関連付けるには、以下の操作を行います。

1 Issue に関連付けるファイルを選択します。

2 チェックイン、チェックアウト、作業ファイルの追加、またはロックを行います。

3　〔Check Out（チェックアウト）〕、〔Check In（チェックイン）〕、〔Lock（ロック）〕、または〔Add Workfiles（作業ファイルの追加）〕ダイアログボックスで【Associate Issues（Issue の関連付け）】ボタンをクリックします。SourceBridge が開きます。



検索　**4**　次のいずれかのフィールドに値を入力し、作業対象の Issue を指定します。

- 〈Project（includes Sub-Projects）（プロジェクト（サブプロジェクトを含む））〉：TeamTrack プロジェクトを選択します。
- 〈Keywords（キーワード）〉：検索するキーワードを入力します。% 記号をワイルドカードとして使用できます。
- 〈Show Only Items I Own（自分が所有しているアイテムのみ表示）〉：自分が所有しているアイテムだけを検索対象にする場合は、このチェックボックスを選択します。

注記 別のユーザとしてログインするには、【Logon（ログオン）】ボタンをクリックします。

- 〈Item ID（アイテム ID）〉：検索するアイテムの ID を入力します。% 記号をワイルドカードとして使用できます。
- 〈Append Search Results to List（検索結果をリストに追加）〉：新しい検索結果を Results（結果）表示部の既存アイテムに追加するには、このチェックボックスを選択します。このチェックボックスを選択しなかった場合、検索処理を実行すると、今まで表示されていた検索結果が消去され、新しい検索結果が表示されます。
- 〈Filter on Active/Inactive（アクティブ / 非アクティブでフィルタ）〉：

- 〈Active（アクティブ）〉: アクティブであるアイテムだけを検索対象にする場合は、このチェックボックスを選択します。
- 〈Inactive（非アクティブ）〉: 非アクティブであるアイテムだけを検索対象にする場合は、このチェックボックスを選択します。
- 〈Both（両方）〉: アクティブ、非アクティブに関係なくアイテムを検索する場合は、このチェックボックスを選択します。

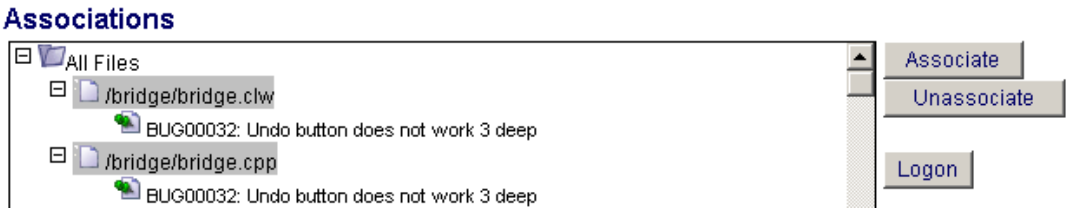
5 【Search（検索）】ボタンをクリックします。検索結果が Results（結果）表示部に表示されます。

結果 **6** TeamTrack Issue の詳細情報を表示するには、その ID をクリックします。その Issue が TeamTrack Web クライアントで開きます。

7 ソース管理下のアイテムに関連付ける Issue のチェックボックスを選択します。

関連付け **8** Associations（関連付け）表示部で、選択した Issue に関連付ける作業ファイルを選択します。

9 【Associate（関連付け）】ボタンをクリックし、選択した Issue と作業ファイルを関連付けます。関連付けの結果が Associations（関連付け）表示部に表示されます。



10 関連付けを解除するには、Associations（関連付け）表示部で Issue を選択し、【Unassociate（関連付け解除）】ボタンをクリックします。

11 【Done - Continue with. . .（実行 - 続行）】ボタンをクリックします。

TeamTrack Web クライアントの起動

TeamTrack Web クライアントを起動するには、次のいずれかをクリックします。

- Version Manager Web クライアントの〔Actions（アクション）〕タブにある〈TeamTrack（TeamTrack）〉アイコン
- SourceBridge 関連ダイアログボックスの Results（結果）表示部に表示されている Issue ID

Version Manager Web クライアントおよび以前のリリースの使用法

Version Manager を使用して、5.3/6.0 プロジェクトルートを現在のフォーマットにアップグレードすることをお勧めします。ただし、Version Manager Web クライアントでは、アップグレードせずに 5.3/6.0 プロジェクトルートにアクセスすることができます。この場合は、ほとんどの機能がサポートされますが、Version Manager 5.3/6.0 GUI との互換性を確保するために、一部の制約が適用されます。

サポートされない機能は次のとおりです。

- Version Manager 5.3/6.0 プロジェクトルート内でのプロジェクトの作成、削除または名前の変更。ただし、5.3/6.0 フォルダ上では、これらのアクションを実行することができます。
- 複数のディレクトリの追加。単一のディレクトリは、ディレクトリ内のすべてのファイルを選択することによって、追加できます。
- 内容表示部での新しく追加されたアーカイブの自動表示。コマンドラインインターフェイスなど、ほかのインターフェイスでアーカイブが追加された場合、〈Update Project Folder（プロジェクトフォルダの更新）〉オプションを使用して、表示を更新する必要があります。

必要なシステム構成

Version Manager Web クライアントは Windows および UNIX の各オペレーティングシステムでサポートされます。サポート対象の具体的なプラットフォーム、Web ブラウザ、およびバージョン情報については、readme ファイル（「readmevm.htm」）を参照してください。

第 2 章

ご使用の前に

Version Manager Web クライアントアプレットのインストール	18
Version Manager Web クライアントに接続する	18
プロジェクトデータベースへのログイン	20
パスワードの変更	21
ユーザの変更	22
プロジェクトデータベースからのログアウト	22

Version Manager Web クライアントアプレットのインストール

Serena ChangeMan Version Manager Web クライアントを使用して VM サーバに接続する前に、Version Manager Web クライアントアプレットをダウンロードしてインストールする必要があります。アプレットをダウンロードしてインストールするには、サポートされている Web ブラウザで〔Version Manager web client install（Version Manager Web クライアントインストール）〕ページを開き、画面上の指示に従います。

注記 クライアントアプレットは、ブラウザの種類ごとに用意されています。コンピュータに複数種類のブラウザがインストールされている場合、ダイアログボックスが開きます。このダイアログボックスで、アプレットをどのブラウザに対してインストールするかを指定できます。UNIX 上で Netscape Communicator を使用している場合は、各ユーザではなく UNIX 管理者がアプレットをインストールしなければならないことがあります。『*Serena ChangeMan Version Manager インストールガイド*』の『Version Manager Web サーバの概要』の章にある『Web ブラウザの設定』を参照してください。

Version Manager Web クライアントアプレットをダウンロードしてインストールするには、次の操作を行います。

1. Web ブラウザを起動します。
2. 〔Version Manager Web クライアントインストール〕ページの URL を開きます。このページの URL は、`http://`*`hostname`*`:`*`port`*`/vminet_install.html`（セキュリティ保護対象外の Web サービス）または `https://`*`hostname`*`:`*`port`*`/vminet_install.html`（セキュリティ保護対象の Web サービス）です。ここでは、*hostname* は VM サーバのホストシステムの名前であり、*port* はそのサーバのポート番号を示します。

注記 ポート番号は、指定する必要がない場合があります。正しい URL を管理者に確認してください。

3. 画面の指示に従って、クライアントアプレットをダウンロードしてインストールします。

使用している Web ブラウザによっては、インストール完了後にブラウザの再起動が必要になる場合があります。インストールページ上に、ブラウザを再起動する必要があるかどうかの指示が示されます。

Version Manager Web クライアントに接続する

Version Manager Web クライアントに接続して Web ブラウザと Version Manager プロジェクトデータベースまたはルートとの間にリンクを確立します。プロジェクトにログインする前に Version Manager Web クライアントに接続する必要があります。

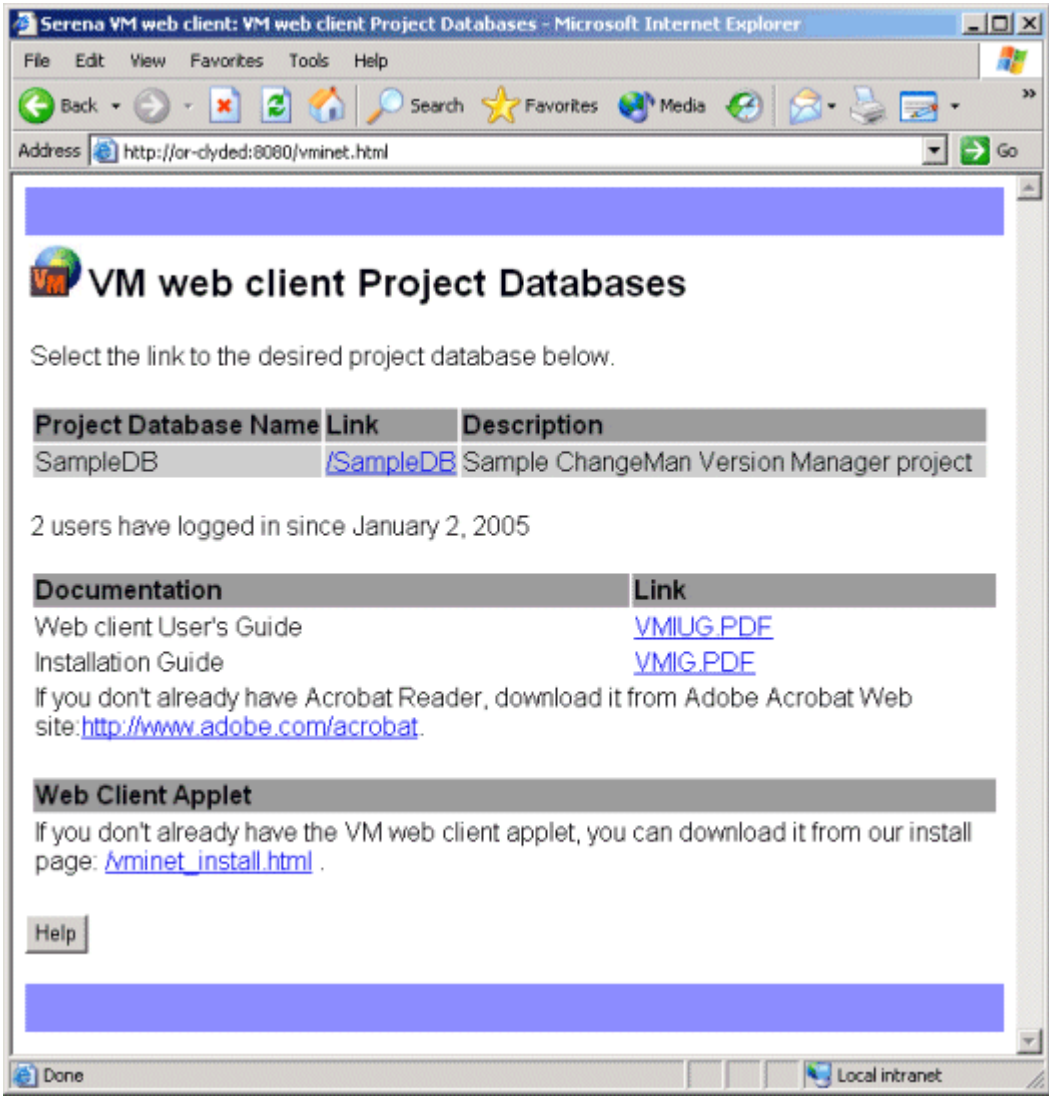
注記 プロジェクトデータベースの URL を知っているか、または Web ブラウザでその場所をブックマークに登録している場合は、〔Project Databases（プロジェクトデータベース）〕ページに接続せずに、直接 URL を開くことができます。

Version Manager Web クライアントに接続するには、次の操作を行います。

1. Web ブラウザを起動します。

2 〔Version Manager Web Client Project Databases（Version Manager Web クライアントプロジェクトデータベース）〕ページの URL を開きます。このページの URL は、`http://hostname:port/vminet.html`（セキュリティ保護対象外の Web サービスの場合）または `https://hostname:port/vminet.html`（セキュリティ保護対象の Web サービスの場合）です。ここで、*hostname* は VM サーバのホストシステムの名前であり、*port* はそのサーバのポート番号を示します。

〔Project Databases（プロジェクトデータベース）〕ページが表示されます。



3 〈Link（リンク）〉リストで、接続するプロジェクトデータベースまたはルートの名前を選択します。

注記 また、〔Project Databases（プロジェクトデータベース）〕ページから、オンラインドキュメントおよびクライアントアプレットインストールページにアクセスすることもできます。

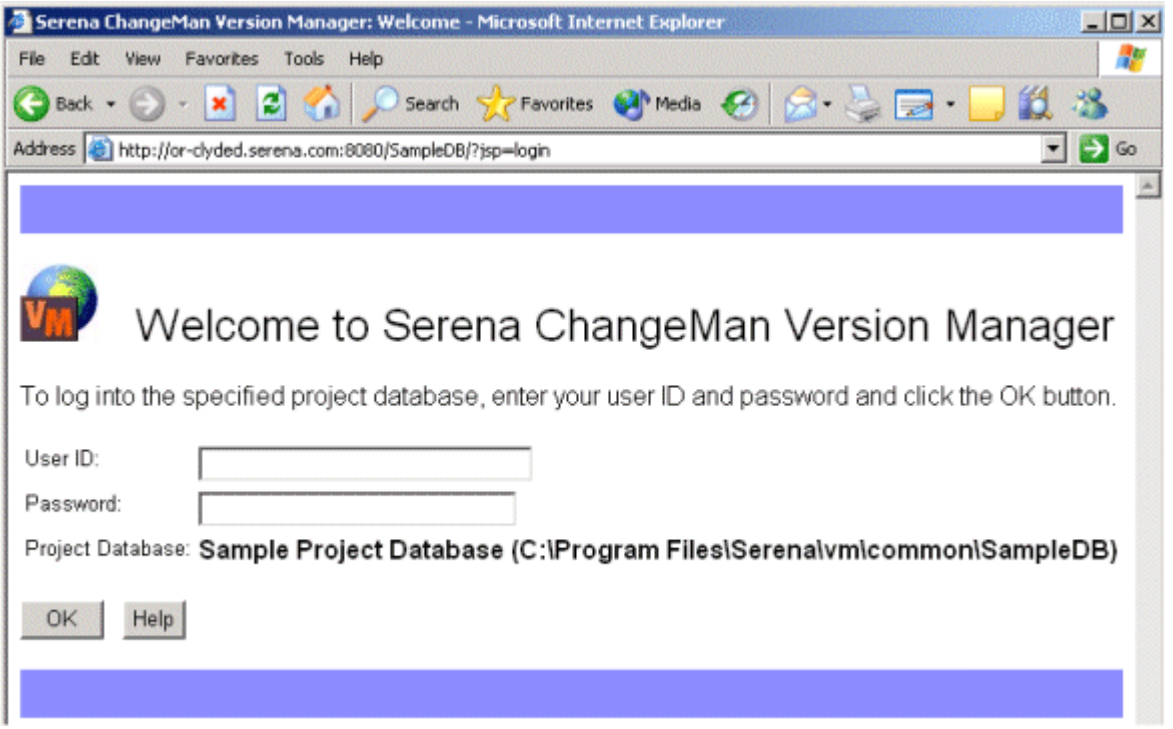
VM サーバに接続すると、ログイン用のページが表示されます。次のセクションに進みます。

プロジェクトデータベースへのログイン

Version Manager プロジェクト、5.3/6.0 フォルダおよびバージョン管理ファイルにアクセスする場合は、プロジェクトデータベースにログインします。この場合、ユーザ ID とパスワードを入力する必要があります。通常、ユーザ ID とパスワードは管理者によって割り当てられます。ユーザ ID とパスワードを管理者に確認してください。

プロジェクトデータベースにログインするには、次の操作を行います。

1 "Version Manager Web クライアントに接続する " ページの「 18 に示すように Version Manager Web クライアントに接続して、〔Login（ログイン）〕ページを開きます。〔Login（ログイン）〕ページが表示されます。



2 ＜**User ID**（ユーザ **ID**）＞フィールドにユーザ ID を入力します。

3 〈Password（パスワード）〉フィールドにパスワードを入力します。

注記

- Version Manager デスクトップクライアントのプロジェクトデータベースのパスワードを持っている場合は、Version Manager Web クライアントのパスワードはデスクトップクライアントのパスワードと同じです。
- セキュリティ保護のため、〈Password（パスワード）〉フィールドでは、IME は無効になります。このフィールドにダブルバイトの文字は入力できません。

4 【OK】をクリックします。

また、管理者がプロジェクトに対してアクセスコントロールデータベースを設定している場合、そのプロジェクトにログインする必要があります。この場合、そのプロジェクトを選択すると、〔Login（ログイン）〕ページが表示されます。

プロジェクトにログインするには、次の操作を行います。

1 〈User ID（ユーザ ID）〉フィールドにユーザ ID を入力します。

2 〈Password（パスワード）〉フィールドにパスワードを入力します。

3 将来の VM Web クライアントセッションでそのプロジェクトにログインする必要がないように、このユーザ ID およびパスワード情報を保存するには、＜ **Remember this user name/ password（このユーザ名とパスワードを記憶）**＞チェックボックスを選択します。

4 【OK】をクリックします。

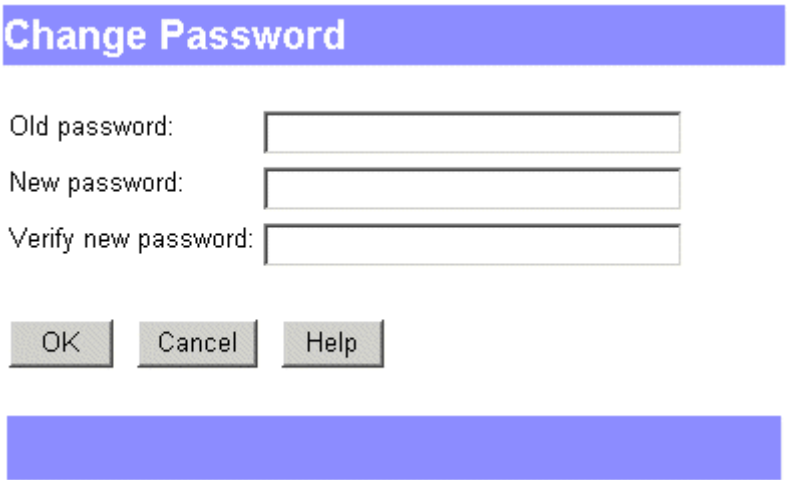
パスワードの変更

管理者から割り当てられたパスワードは、いつでも変更できます。変更するパスワードは、〔Login（ログイン）〕ページで入力したパスワードです。いったんパスワードを変更すると、次の Version Manager Web クライアントへのログイン時には新しいパスワードが有効になります。

Version Manager でこのプロジェクトデータベースのセキュリティ保護が有効になっている場合は、Version Manager Web クライアントのパスワードを変更すると、Version Manager デスクトップクライアントのパスワードも変更されます（逆の場合も同様）。

パスワードを変更するには、次の操作を行います。

1 〔File（ファイル）〕メニュータブで【Change Password（パスワードの変更）】ボタンをクリックします。〔Change Password（パスワードの変更）〕ダイアログボックスが表示されます。



2 〈Old password（現在のパスワード）〉フィールドに現在のパスワードを入力します。

3 〈New Password（新しいパスワード）〉フィールドに、半角英数字で 29 字以内の新しいパスワードを入力します。

4 〈Verify new password（パスワードの確認）〉フィールドに新しいパスワードを再入力します。

5 【OK】をクリックします。

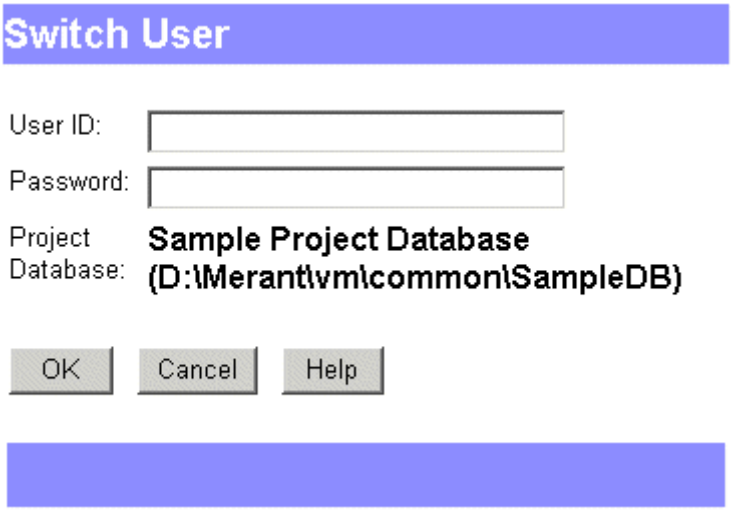
ユーザの変更

開かれたプロジェクトデータベースまたはプロジェクトで、異なるユーザ名およびパスワードを使用して、作業を続けることができます。〈Switch User（ユーザの変更）〉オプションを使用すると、プロジェクトを閉じて再び開かずに、異なる権限を持つユーザ ID に素早く変更することができます。

プロジェクトデータベースまたはプロジェクトのユーザを変更するには、次の操作を行います。

1　〔File（ファイル）〕メニュータブで【Switch User（ユーザの変更）】ボタンをクリックします。

〔Switch User（ユーザの変更）〕ダイアログボックスが表示されます。



2　〈User ID（ユーザ ID）〉フィールドに新しいユーザ ID を入力します。

3　〈Password（パスワード）〉フィールドにパスワードを入力します。

4　【OK】をクリックします。

プロジェクトデータベースからのログアウト

ソース管理タスクを終了した場合、または別のプロジェクトデータベースにログインする場合は、プロジェクトデータベースからログアウトします。プロジェクトデータベースからログアウトすると、すぐに Version Manager Web クライアントセッションが終了され、次に Version Manager プロジェクトデータベースにアクセスするときにユーザ ID とパスワードを再び入力する必要があります。

プロジェクトデータベースからログアウトするには、次の操作を行います。

- メニュータブの右側にある【Logout（ログアウト）】ボタンをクリックします。〔Logout(ログアウト)〕ページが表示されます。
- 別のプロジェクトデータベースにログインするには、「`vminet.html`」へのリンクをクリックして、このサーバで使用できるプロジェクトデータベースのリストを表示します。

注記 プロジェクトデータベースから明示的にログアウトしなかった場合、サーブレット構成によっては、アイドル状態によるタイムログアウトが発生する場合があります。

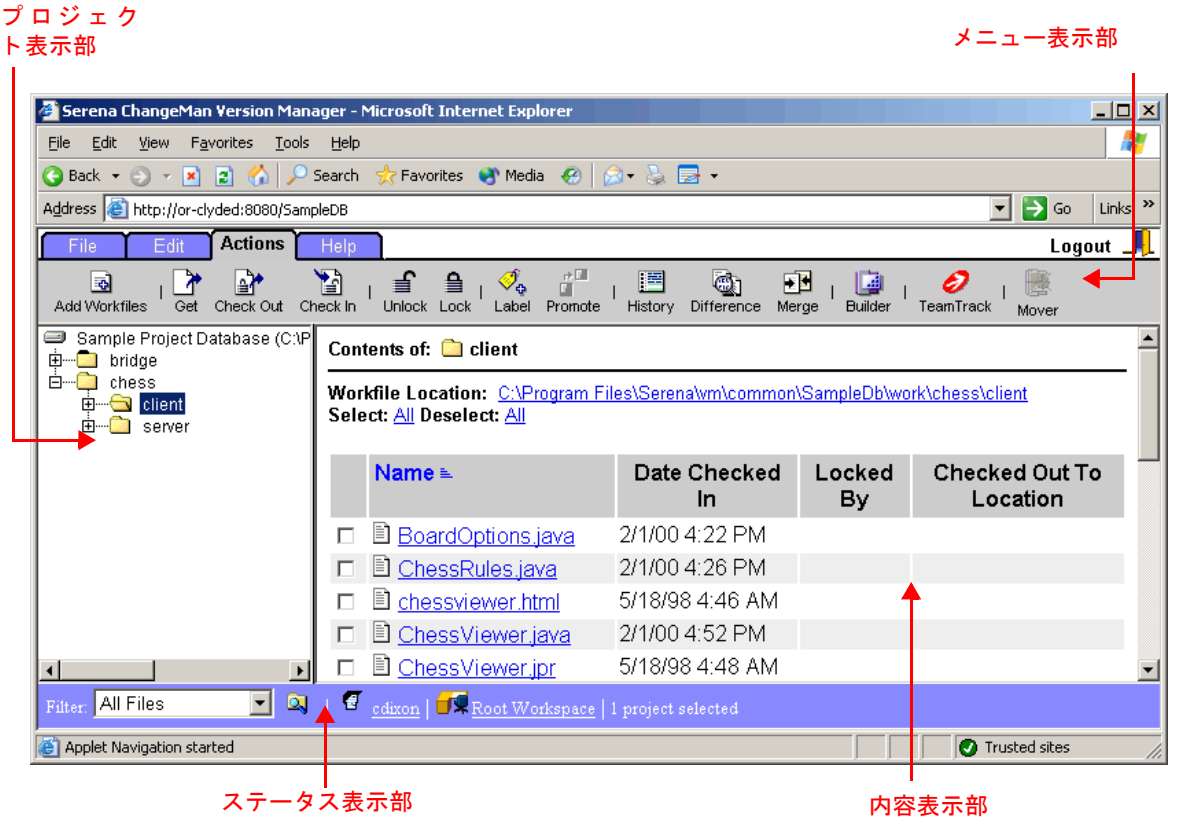
第 3 章

Version Manager Web クライアントウィンドウでの操作

Version Manager Web クライアントの表示部	24
アイテムの選択	33
アイテムの移動	33
アイテム名の変更	34
アイテムの削除	35
アイテムのプロパティの参照	36
表示のフィルタ	37

Version Manager Web クライアントの表示部

プロジェクトデータベースにログインした後、
Serena ChangeMan Version Manager Web クライアントを操作して、プロジェクトデータベースに入っているプロジェクト、サブプロジェクト、5.3/6.0 フォルダ、バージョン管理ファイル、およびリビジョンを表示します。Version Manager Web クライアントは 5 つの表示部、つまり、プロジェクト表示部、内容表示部、リビジョン表示部（次の画面には示されていません）、メニュー表示部、およびステータス表示部で構成されています。



プロジェクト表示部での作業

プロジェクト表示部では、開かれているプロジェクトデータベースとそのプロジェクト、サブプロジェクト、および 5.3/6.0 フォルダが階層ツリーで表示されます。ツリーの下の階層を表示したり、隠すには、「+」または「-」をクリックします。プロジェクト、サブプロジェクト、または 5.3/6.0 フォルダを選択すると、右側の内容表示部にバージョン管理ファイルが表示されます。

プロジェクト表示部には、次のアイコンが表示されます。

アイコン	説明
	名前および場所（かっこ内）によって表示された、開かれているプロジェクトデータベース。5.3/6.0 プロジェクトデータベースは、場所のみが表示されます。
	プロジェクト、サブプロジェクト、またはフォルダ。5.3/6.0 プロジェクトまたはフォルダのアイコンは、青色で表示されます。

アイコン	説明
	コンフィグレーションファイルが添付されているプロジェクト。これらのコンフィグレーション設定は、プロジェクトデータベース設定より優先されます。5.3/6.0 プロジェクトのアイコンは、青色で表示されます。
	ユーザが、アクセスコントロールデータベースで定義されていないため、開くことができないプロジェクト。5.3/6.0 プロジェクトのアイコンは、青色で表示されます。

内容表示部での作業

内容表示部にはプロジェクトデータベース内のバージョン管理ファイルまたはプロジェクト表示部で選択したプロジェクトが表示されます。

- アクションのためにバージョン管理ファイルを選択するには、バージョン管理ファイルの横のチェックボックスを選択します。
- デフォルトのエディタまたはブラウザでバージョン管理ファイルを編集したり、表示したりするには、該当ファイルアイコンをクリックします。

注記 デフォルトエディタの設定については、53 ページの「デフォルトエディタの設定」を参照してください。

- リビジョン表示部を開いて、バージョン管理ファイル内のすべてのリビジョンの詳細を表示するには、ファイル名を選択します。
- バージョン管理ファイルをソートするには、ソートする列の見出しをクリックします。ソート順を逆にするには、列見出しを再度クリックします。

内容表示部には、次のフィールドとアイコンが含まれます

フィールドまたはアイコン	説明
〈Contents of（表示）〉	バージョン管理ファイルがあるプロジェクトデータベースまたはプロジェクトの名前を表示します。
〈Workfile Location（作業ファイルの場所）〉	プロジェクトの作業ファイルの場所を表示します。
〈Page（ページ）〉	1 ページに表示できるアイテムより多いアイテムが存在する場合にのみ、表示されます。前のページ、次のページ、または特定のページに進むにはそれぞれ、〈Previous（前のページ）〉、〈Next（次のページ）〉、または〈[number]（ページ番号）〉をクリックします。最下部の〈Page Index（ページ索引）〉に進むには、〈Index（索引）〉をクリックします。〈Page Index（ページ索引）〉には、各ページの最初と最後のファイルが表示されています。 このフィールドはページの最下部にもあります。ただし、〈Index（索引）〉の代わりに〈Top（トップへ）〉のリンクが設けられており、これをクリックすると、ページの最上部に移動します。
〈Select/Deselect（選択 / 選択解除）〉	すべてのアイテムを選択およびクリアするためのオプション。1 ページに表示できるアイテムより多いアイテムが存在する場合は、現在のページ上にあるすべてのアイテムが選択されます。

フィールドまたはアイコン	説明
〈Name（名前）〉	バージョン管理ファイルの名前。クリックするとリビジョン表示部が開きます。
〈Date Checked In（チェックイン日時）〉	バージョン管理ファイルが最後にチェックインされた日時。
〈Locked By（ロック）〉	現在、そのアイテムをロックしているユーザ ID。
〈Checked Out To Location（チェックアウト先）〉	バージョン管理ファイルがチェックアウトされている場合、ファイルのチェックアウト先パスを表示します。
	ロックされたリビジョンがないバージョン管理ファイル。デフォルトエディタで表示または編集します。
	ロックされたリビジョンがあるバージョン管理ファイル。デフォルトエディタで表示または編集します。
	発見できないアーカイブを参照するバージョン管理ファイル。
〈Page Index（ページ索引）〉	1 ページに表示できるアイテムより多いアイテムが存在する場合にのみ、表示されます。ページ番号および各ページ上の最初と最後のファイルが表示されます。

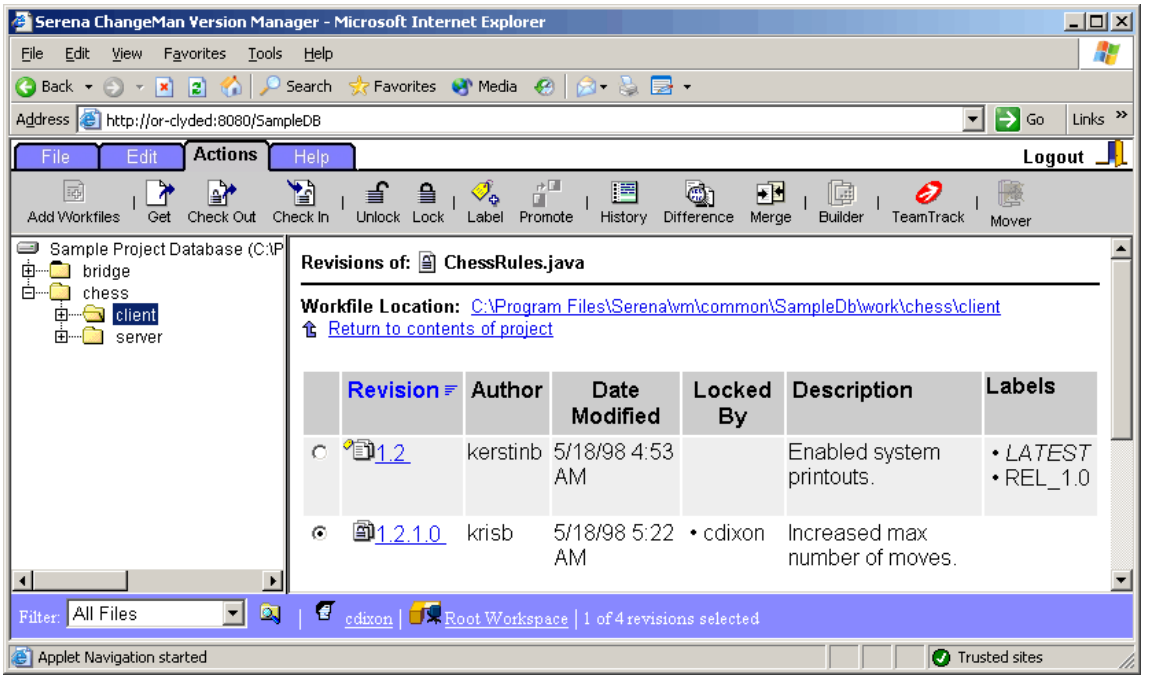
リビジョン表示部での作業

バージョン管理ファイルリンクを選択すると、リビジョン表示部にこのバージョン管理ファイルのすべてのリビジョンの詳細が表示されます。

- アクションのためにリビジョンファイルを選択するには、リビジョンファイルの横のラジオボタンを選択します。
- デフォルトのエディタまたはブラウザでリビジョンファイルを編集したり、表示したりするには、リビジョン番号を選択します。

注記 デフォルトエディタの設定については、53 ページの「デフォルトエディタの設定」を参照してください。

- リビジョンをソートするには、ソートする列の見出しをクリックします。ソート順を逆にするには、列見出しを再度クリックします。



リビジョン表示部には、次のフィールドとアイコンが含まれます。

フィールドまたはアイコン	説明
〈Revisions of（ファイル）〉	リビジョンを含むバージョン管理ファイルの名前を表示します。
〈Workfile Location（作業ファイルの場所）〉	バージョン管理ファイルの作業ファイルの場所を表示します。〔Set Workfile Location（作業ファイルの場所の設定）〕ダイアログボックスを起動するには、作業ファイルの場所のリンクをクリックします。
〈Page（ページ）〉	1 ページに表示できるアイテムより多いアイテムが存在する場合にのみ、表示されます。前のページ、次のページ、または特定のページに進むにはそれぞれ、〈Previous（前のページ）〉、〈Next（次のページ）〉、または〈[number]（ページ番号）〉を選択します。
〈Return to the contents of the project（ファイルのリストに戻る）〉	内容表示部に戻ります。
〈Revision（リビジョン）〉	リビジョンの番号。デフォルトのリビジョンが選択されます。選択してデフォルトエディタで編集または表示します。
〈Author（作者）〉	リビジョンの作成者。
〈Date Modified（変更日時）〉	ファイルが最後にチェックインされたときのタイムスタンプ。
〈Locked By（ロック）〉	現在、そのリビジョンをロックしているユーザ ID。
〈Description（コメント）〉	リビジョンがチェックインされたときに、そのリビジョンに追加されたコメント。

フィールドまたはアイコン	説明
〈Labels（バージョンラベル）〉	リビジョンにバージョンラベルが割り当てられている場合は、そのラベル名が表示されます。
〈Promotion Groups（プロモーショングループ）〉	リビジョンにプロモーショングループが割り当てられている場合は、そのプロモーショングループが表示されます。
	リビジョン。
	ロックされたリビジョン。
	プロモーショングループを割り当てられたリビジョン。
	ロックされている、プロモーショングループを割り当てられたリビジョン。
	バージョンラベルを割り当てられたリビジョン。
	ロックされている、バージョンラベルを割り当てられたリビジョン。
	プロモーショングループとバージョンラベルを割り当てられたリビジョン。
	ロックされている、プロモーショングループとバージョンラベルを割り当てられたリビジョン。

メニュー表示部での作業

メニュー表示部には、Version Manager Web クライアントコマンドを実行するためのアイコンが並んでいます。タブを選択すると、〔File（ファイル）〕、〔Edit（編集）〕、〔Actions（アクション）〕、または〔Help（ヘルプ）〕メニュータブ上のコマンドにアクセスできます。そのメニュータブでアイコンをクリックして、コマンドを実行します。

次のメニュータブアイコンを使用できます。

〔File（ファイル）〕メニュータブのアイコン	説明
	新しいプロジェクトまたは 5.3/6.0 フォルダを作成します。
	選択されたプロジェクトデータベース、プロジェクト、またはバージョン管理ファイル用の作業ファイルの場所を設定または変更します。
	5.3/6.0 プロジェクトフォルダを更新して、別のユーザが追加した新しいアーカイブを表示します。
	既存のプロジェクトまたは 5.3/6.0 フォルダの名前を変更します。
	既存のプロジェクト、5.3/6.0 フォルダ、またはバージョン管理ファイルを削除します。
	プロジェクトデータベース、プロジェクト、5.3/6.0 フォルダ、またはバージョン管理ファイルのプロパティを表示します。
	ワークスペースを設定、作成、名前を変更、または削除します。
	選択されたプロジェクトデータベースまたはプロジェクトの別のユーザ ID に変更します。
	選択されたプロジェクトデータベースまたはプロジェクトにログインするためのパスワードを変更します。

〔Edit（編集）〕メニュータブのアイコン	説明
	1 つ以上のバージョン管理ファイルを別のプロジェクトまたは 5.3/6.0 フォルダにコピーします。 **注記** アーカイブの場所は変更されません。

	1 つ以上のバージョン管理ファイルを別のプロジェクトまたは 5.3/6.0 フォルダに移動します。 **注記** アーカイブの場所は変更されません。
	Version Manager Web クライアントの表示および操作のオプションを設定します。

〔Actions（アクション）〕メニュータブのアイコン	説明
	作業ファイルをプロジェクトデータベース、プロジェクト、または 5.3/6.0 フォルダに追加します。
	リビジョンを取得し、作業ファイルの場所にコピーを作成します。
	編集可能なリビジョンを作業ファイルの場所にチェックアウトします。
	変更された作業ファイルをアーカイブにチェックインします。
	チェックインを実行せずに、リビジョンをロック解除します。
	チェックアウトを実行せずに、リビジョンをロックします。
	リビジョンのバージョンラベルの割り当て、改名、または削除を行います。
	リビジョンのプロモーショングループの割り当て、プロモート、変更、または削除を行います。
	プロジェクトデータベース、プロジェクト、バージョン管理ファイル、または 5.3/6.0 フォルダの履歴レポートを作成します。
	Merge Tool を起動してリビジョン間または作業ファイル間での相違点を比較します。
	Merge Tool を起動してリビジョン間または作業ファイル間でマージします。

	Serena ChangeMan Builder Web クライアントを起動して、ビルドプロセスを制御して実行します。
	（表示されない場合あり）別の Web ブラウザを起動して、現在のプロジェクトデータベースに関連付けられた TeamTrack URL を表示します。この URL は、管理者によって Version Manager Application Server で定義されます。
	（表示されない場合あり）別の Web ブラウザを起動して、現在のプロジェクトデータベースに関連付けられた Tracker URL を表示します。この URL は、管理者によって Version Manager Application Server で定義されます。
	（表示されない場合あり）TrackerLink を起動して、チェックイン、チェックアウト、ロック、または作業ファイルへの追加時に、Tracker の Issue を作業ファイルに関連付けます。

〔Deployment（配布）〕メニュータブのアイコン	**説明**
	ファイルを Version Manager から他のアプリケーションに配布するには、Serena ChangeMan Mover が必要です。
	Mover が必要です。ファイル配布処理をセットアップする際に使います。
	Mover が必要です。ファイル配布処理をスケジューリングする際に使います。

〔Help（ヘルプ）〕メニュータブのアイコン	**説明**
	Version Manager Web クライアントのヘルプシステムを起動します。
	ヘルプシステムで、〔What's New page（Version Manager の新機能）〕ページを表示します。このバージョンの Version Manager の新機能を紹介します。
	Serena のサポートページを開きます。
	Version Manager Web クライアントの著作権およびバージョン情報を含む〔About（バージョン情報）〕ページが表示されます。
	プロジェクトデータベースからログアウトします。

ステータス表示部での作業

ステータス表示部では、現在のフィルタ、ユーザ ID、およびワークスペースを表示および変更することができます。また、現在選択されているアイテムの数も表示されます。

- 内容表示部でのバージョン管理ファイルの表示を変更するには、〈Filter（フィルタ）〉ドロップダウンリストを選択します。
- ユーザを変更するには、そのユーザ ID を選択します。
- 別のワークスペースを設定するには、そのワークスペース名を選択します。

ステータス表示部は、次のフィールドとアイコンで構成されます。

フィールドまたはアイコン	説明
〈Filter（フィルタ）〉	すべてのファイルを表示するか、ファイル名のワイルドカード、ロック設定者、バージョンラベル、またはプロモーショングループで表示をフィルタ処理します。最後に使用した 4 つのフィルタが記憶されます。
	フィルタのモードを次のようにして、再帰的と非再帰的との間で切り替えます。 ■ 〈Recursive（再帰的）〉: 内容表示部には、プロジェクト表示部で選択したアイテムに含まれる、すべてのプロジェクト、サブプロジェクト、およびバージョン管理ファイルが表示されます。 ■ 〈Non-recursive（非再帰的）〉: 内容表示部には、プロジェクト表示部で選択したアイテムのルートに含まれるバージョン管理ファイルのみが表示されます。
	ここには、現在のユーザ ID が表示されます。このプロジェクトデータベースの別のユーザ ID に変更するには、ユーザ名を選択します。
〈Public（パブリック）〉	ここには、現在のワークスペースが表示されます。このプロジェクトデータベースの別のワークスペースを設定するには、ワークスペース名を選択します。
〈Private（プライベート）〉	ワークスペースアイコンは、そのワークスペースがパブリックかプライベートかを示します。
〈[#] of [total] [items] selected（[総数] 個中、[選択された数] 個の [アイテム] を選択）〉	現在選択されているプロジェクト、フォルダ、バージョン管理ファイル、またはリビジョンの数を表示します。バージョン管理ファイルとリビジョンについては、プロジェクト内のバージョン管理ファイルの総数、およびバージョン管理ファイルのリビジョンの数も表示されます（例：50 個中 4 個のファイルを選択）。

アイテムの選択

Version Manager Web クライアントでアイテムを選択して、その情報を表示したり、チェックイン、取得、チェックアウト、ロック、ロック解除、またはバージョンラベルの割り当てなどのアクションを実行します。アイテムの選択後に、メニューアイコンをクリックして、アクションを実行します。

選択されるリビジョン	実行する操作
プロジェクトデータベース	プロジェクト表示部でプロジェクトデータベースを選択します。
プロジェクトまたはフォルダ	プロジェクト表示部でプロジェクトまたはフォルダを選択します。
複数のプロジェクト	SHIFT キーまたは CTRL キーを押したまま、プロジェクト表示部でプロジェクトを選択します。同じ親プロジェクトに属する場合にのみ、複数のプロジェクトを選択することができます。
1 つ以上のバージョン管理ファイル	内容表示部で、バージョン管理ファイルの横にあるチェックボックスを選択します。プロジェクト内のすべてのバージョン管理ファイルを選択するには、〈Select: All（選択：すべて）〉リンクを選択します。バージョン管理ファイルが複数のページ上に存在する場合、〈Select: All on this page（選択：このページのすべて）〉を選択して、現在のページ上のバージョン管理ファイルのみを選択することができます。 〈Select: All（選択：すべて）〉リンクを選択した後で別のページに移動すると、その選択は取り消されます。
リビジョン	リビジョン表示部で、リビジョンの横にあるラジオボタンを選択します。

アイテムの移動

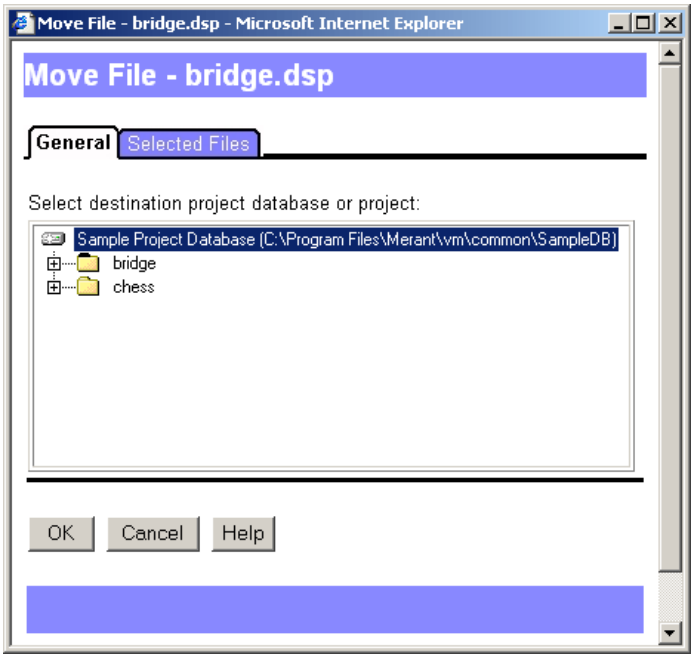
プロジェクトデータベース内のプロジェクトまたはフォルダ間でバージョン管理ファイルを移動することができます。バージョン管理ファイルを移動しても、それらが参照するアーカイブは移動されません。バージョン管理ファイルは、引き続き、元の場所にあるアーカイブを参照します。

プロジェクトやフォルダなどのほかのアイテムを移動するには、Version Manager デスクトップクライアントを使用します。

バージョン管理ファイルを移動するには、次の操作を行います。

1 1 つ以上のバージョン管理ファイルを選択します。

2　〔Edit（編集）〕メニュータブで〈Move（移動）〉アイコンをクリックします。〔Move File（ファイルの移動）〕ダイアログボックスが表示されます。



3　プロジェクトツリー内の移動先プロジェクトまたはフォルダを選択します。ファイルをプロジェクトデータベースまたはルートのすぐ下に移動するには、プロジェクトデータベースまたはルートを選択します。

4　【OK】をクリックします。バージョン管理ファイルが移動先の場所に移動します。

アイテム名の変更

プロジェクト表示部で、プロジェクトまたは 5.3/6.0 フォルダの名前を変更することができます。新しいプロジェクト名が Version Manager デスクトップおよび Version Manager Web クライアントに表示されますが、実際のアーカイブディレクトリ名は変更されません。

注記 バージョン管理ファイルまたは 5.3/6.0 プロジェクトの名前は変更できません。

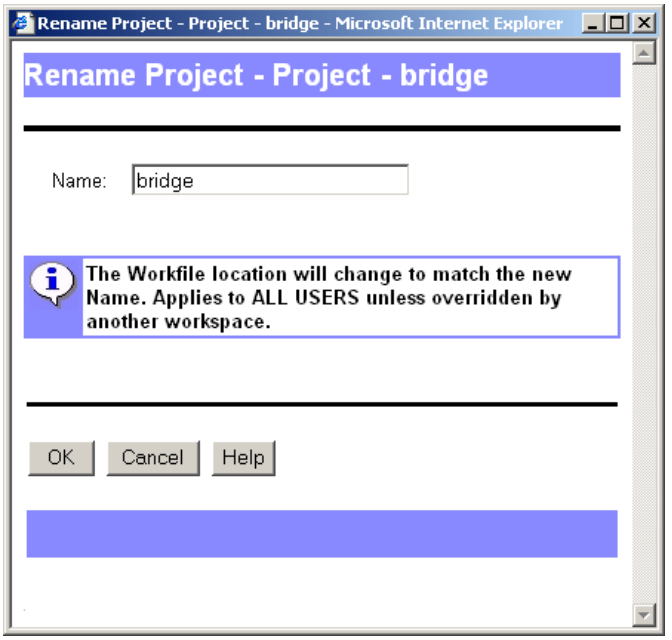
元の作業ファイルの場所が以前のプロジェクト名と一致していた場合は、新しい作業ファイルの場所が新しいプロジェクト名と一致するように設定されます。新しい作業ファイルの場所から、ファイルがチェックアウト、コピー、およびチェックインされます。プロジェクトまたはフォルダの名前を変更する前にチェックアウトしたすべてのファイルは、元の作業ファイルの場所にとどまります。

プロジェクトまたはフォルダの名前を変更するには、次の操作を行います。

1　名前を変更するプロジェクトまたはフォルダを選択します。

2　〔File（ファイル）〕メニュータブで、〈Rename（名前の変更）〉アイコンをクリックします。

〔Rename Project（プロジェクト名の変更）〕ダイアログボックスまたは〔Rename Folder（フォルダ名の変更）〕ダイアログボックスが表示されます。



3 〈Name（名前）〉フィールドに新しい名前を入力します。

4 【OK】をクリックします。

アイテムの削除

セキュリティ保護権限に応じて、プロジェクト、5.3/6.0 フォルダ、およびバージョン管理ファイルを削除することができます。5.3/6.0 プロジェクトは削除できません。すべての削除されたアイテムは、Version Manager デスクトップクライアントおよび Version Manager Web クライアントの両方から削除されます。ただし、削除されたアイテムのアーカイブは、アーカイブディレクトリから削除されません。また、プロジェクトコンフィグレーションファイルおよびアクセスコントロールデータベースも保持されます。

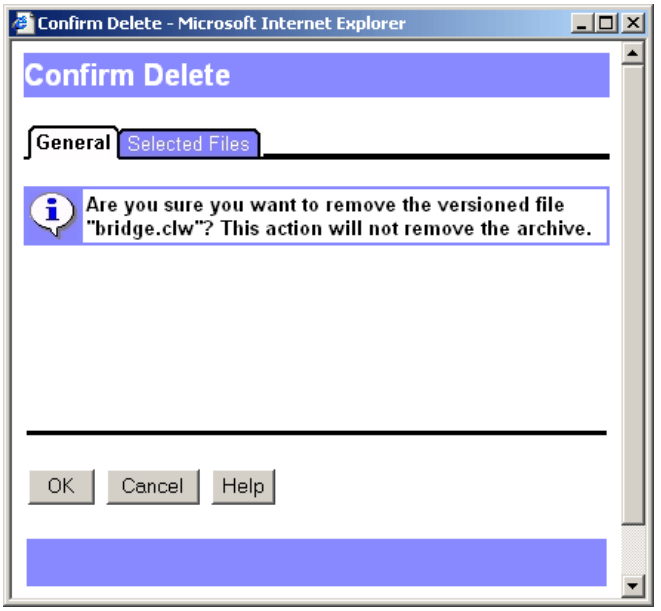
削除したプロジェクト、5.3/6.0 フォルダ、またはバージョン管理ファイルを復元する場合は、Version Manager を使用して、そのアーカイブをプロジェクトデータベースまたはプロジェクトにインポートします。

プロジェクト、フォルダ、またはバージョン管理ファイルを削除するには

1 削除するアイテムを選択します。1 つ以上のプロジェクト、フォルダ、またはバージョン管理ファイルを選択できます。

2 〔File（ファイル）〕メニュータブで、〈Delete（削除）〉アイコンをクリックします。

〔Confirm Delete（削除の確認）〕ダイアログボックスが表示されます。



3　【OK】をクリックして、アイテムを削除します。

アイテムのプロパティの参照

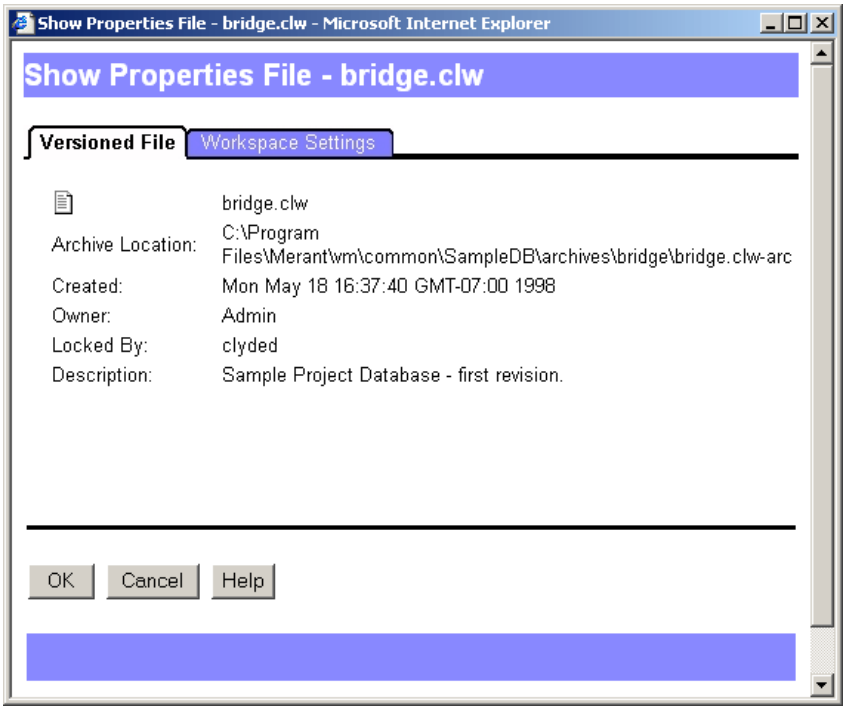
プロジェクトデータベース、5.3/6.0 プロジェクトルート、プロジェクト、5.3/6.0 フォルダ、およびバージョン管理ファイルのプロパティを参照することができます。プロパティは、選択したアイテムによって異なります。

選択するアイテム	実行できる操作
プロジェクトデータベースまたはプロジェクト	その内容、コンフィグレーションファイル、およびアーカイブの場所を参照できます。また、作業ファイルの場所、デフォルトバージョン、デフォルトプロモーショングループ、ブランチバージョン、およびベースバージョンも、参照または変更できます。
5.3/6.0 プロジェクトルートまたはプロジェクト	その内容およびコンフィグレーションファイルを参照できます。また、デフォルトバージョン、デフォルトプロモーショングループ、ブランチバージョン、およびベースバージョンも、参照または変更できます。
5.3/6.0 フォルダ	その内容を参照できます。また、作業ファイルの場所も、参照または変更できます。
バージョン管理ファイル	アーカイブ情報を参照できます。また、作業ファイルの場所も、参照または変更できます。

アイテムのプロパティを参照するには、次の操作を行います。

1　プロジェクトデータベース、プロジェクト、フォルダ、またはバージョン管理ファイルを選択します。

2 〔File（ファイル）〕メニュータブで、〈Properties（プロパティ）〉アイコンをクリックします。〔Show Properties（プロパティの表示）〕ダイアログボックスが表示されます。



注記 〔Show Properties（プロパティの表示）〕ダイアログボックスの内容は、選択したアイテムの種類によって異なります。

3 必要に応じて、デフォルト設定を参照または変更します。第 4 章、49 ページの「環境のカスタマイズ」を参照してください。

4 【OK】をクリックします。

表示のフィルタ

デフォルトでは、プロジェクトデータベース、プロジェクト、またはフォルダを選択すると、関連するすべてのバージョン管理ファイルが内容表示部に表示されます。ファイルフィルタを使用すると、フィルタ条件に一致するバージョン管理ファイルのみを表示するようにできます。フィルタをかけると、以下の条件を満たすバージョン管理ファイルのみを表示できます。

- 特定ユーザまたは任意のユーザにロックされている
- ワイルドカードファイル名パターンに一致している
- 指定したプロモーショングループに属している
- 特定のバージョンラベルが指定されている
- リビジョン番号、修正時刻またはリビジョンの内容が次の項目間で異なるもの
  - 2 つのバージョンラベル
  - 2 つのプロモーショングループ
  - バージョンラベルとプロモーショングループ

フィルタを実行したプロジェクトにアクションを実行する

プロジェクト表示部で選択したプロジェクトでチェックアウトなどのアクションを実行する場合、Version Manager はそのプロジェクトの、フィルタ処理で現在表示されていないファイルを「含む」すべてのファイルに関してそのアクションを実行します。

注記 フィルタされた表示は、別のフィルタを選択するまでは有効となります。混乱を避けるには、別の作業に移る前に〈All Files（すべてのファイル）〉表示に戻してフィルタされた表示をクリアします。

ファイルの再帰的な表示

デフォルトでは、内容表示部には、プロジェクト表示部で選択したアイテム（プロジェクトデータベース、プロジェクト、またはサブプロジェクト）のルートに置かれているバージョン管理ファイルのみが表示されます。再帰的表示を選択した場合以外は、プロジェクト、サブプロジェクト、およびネストされたプロジェクトおよびサブプロジェクトに含まれるファイルは表示されません。

次のようにして、再帰的と非再帰的との間で表示を切り替えます。

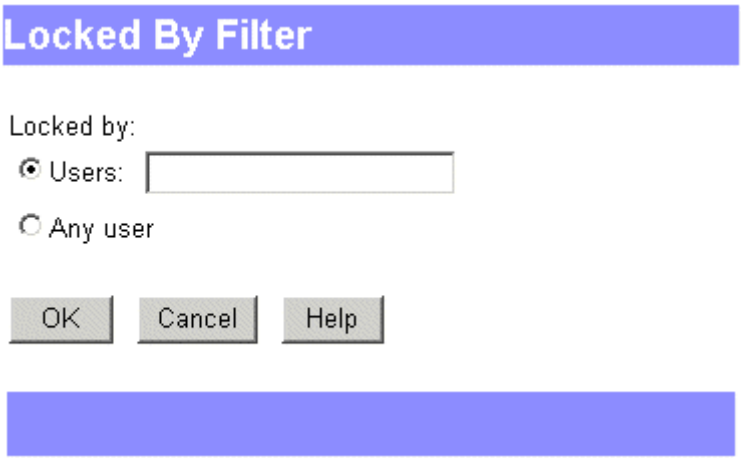
1. プロジェクト表示部で、プロジェクトデータベースまたは表示するプロジェクトを選択します。
2. 〈Recursive（再帰的）/Non-recursive（非再帰的）〉アイコンをクリックします。ボタンの外観が切り替わって、どちらのモードが有効かが示されます。
   - 〈Recursive（再帰的）〉: 内容表示部には、プロジェクト表示部で選択したアイテムに含まれる、すべてのプロジェクト、サブプロジェクト、およびバージョン管理ファイルが表示されます。
   - 〈Non-recursive（非再帰的）〉: 内容表示部には、プロジェクト表示部で選択したアイテムのルートに含まれるバージョン管理ファイルのみが表示されます。

ロック設定者によるフィルタ

このフィルタを使用して特定のユーザまたは任意のユーザがロックしたバージョン管理ファイルを検索します。

ロック設定者フィルタを設定するには、次の操作を行います。

1. ステータス表示部の〈Filter（フィルタ）〉リストで、〈Locked By（ロック設定者）〉を選択します。〔Locked By Filter（ロック設定者フィルタ）〕ダイアログボックスが表示されます。



2 次のいずれかの操作を行います。

- 特定ユーザによってロックされたバージョン管理ファイルを表示するには、〈Users（ユーザ）〉オプションを選択し、1 つ以上のユーザ ID を入力します。複数のユーザ ID は区切り文字で区切ります。デフォルトの区切り文字はセミコロン（;）です。区切り文字の設定については、52 ページの「フィールドに入力するアイテムの区切り文字の指定」を参照してください。
- ロック設定者に関係なく、ロックされたすべてのバージョン管理ファイルを表示するには、〈Any user（すべてのユーザ）〉オプションを選択します。

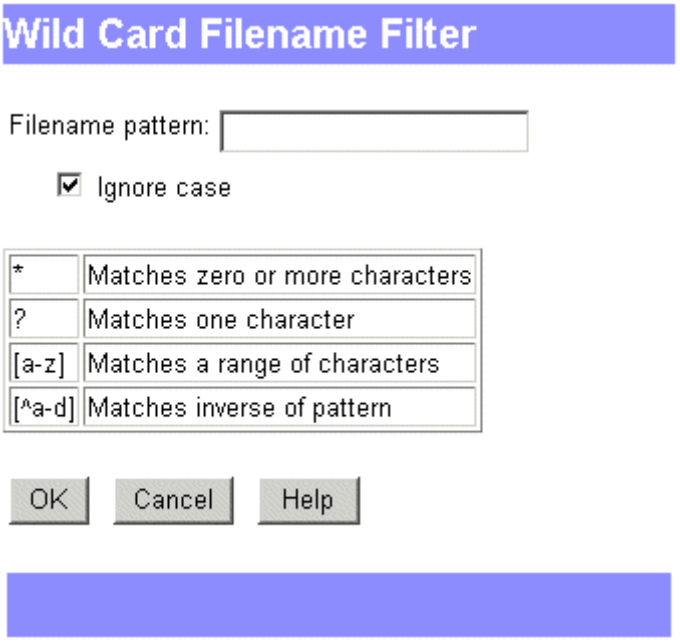
3 【OK】をクリックします。

ワイルドカードファイル名によるフィルタ

このフィルタを使用して指定したワイルドカード名パターンに一致するバージョン管理ファイルを検索します。

ワイルドカードフィルタを設定するには

1 ステータス表示部の〈Filter（フィルタ）〉リストで、〈Wild Card（ワイルドカード）〉を選択します。〔Wild Card Filename Filter（ワイルドカードファイル名フィルタ）〕ダイアログボックスが表示されます。



2 〈Filename pattern（ファイル名のパターン）〉フィールドにフィルタ条件を入力します。

使用するワイルドカード	一致する文字
*	ゼロ個以上の任意の文字。 たとえば、DLL という拡張子のついた全バージョン管理ファイルを検索するには、*.DLL と入力します。
?	任意の 1 文字。 たとえば、TEST01.DLL、TEST02.DLL、... 、TESTXX.DLL のように、一定の法則を持つファイル名を持つバージョン管理ファイルを検索するには、TEST??.DLL と入力します。

使用するワイルドカード	一致する文字
[-]	一定範囲の文字。 たとえば、A、B、C、D の文字で始まるファイル名のバージョン管理ファイルすべてを検索するには、[A-D]* と入力します。
^	括弧で囲まれた以外の文字（たとえば、[^A-D]* は、A、B、C、D 以外で始まるすべてのファイル名）。

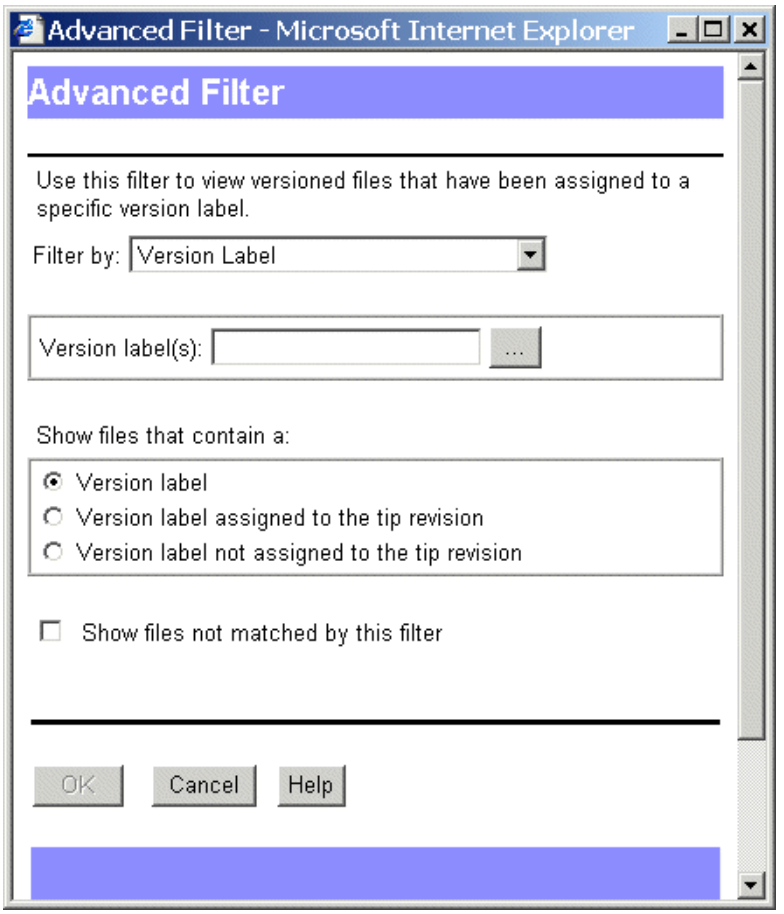
3　【OK】をクリックします。

バージョンラベルによるフィルタ

このフィルタを使用して指定したバージョンラベルが含まれているバージョン管理ファイルを検索します。

バージョンラベルフィルタを設定するには、次の操作を行います。

1　ステータス表示部の〈Filter（フィルタ）〉リストで、〈Advanced Filter（詳細フィルタ）〉を選択します。〔Advanced Filter（詳細フィルタ）〕ダイアログボックスが表示されます。



2　フィルタするバージョンラベルの名前を〈Version label(s)（バージョンラベル）〉フィールドに入力するか、参照して選択します。複数のバージョンラベルは区切り文字で区切ります。デフォルトの区切り文字は、セミコロン（;）です。区切り文字の詳細については、52 ページの「フィールドに入力するアイテムの区切り文字の指定」を参照してください。

注記 バージョンラベルでは、大文字小文字が区別されます。大文字小文字を正確に入力してください。

3 次のラベルの中から指定したバージョンラベルを持っているバージョン管理ファイルを表示するために、次のオプションの 1 つを選択します。

- すべてのリビジョン：〈Version Label（バージョンラベル）〉
- チップリビジョン：〈Version label assigned to the tip revision（チップリビジョンに割り当てられているバージョンラベル）〉
- チップリビジョン以外のリビジョン：〈Version label not assigned to tip revision（チップリビジョンに割り当てられていないバージョンラベル）〉

4 フィルタの論理を反転するには、〈Show files not matched by this filter（このフィルタに合致しないファイルを表示）〉チェックボックスを選択します。

5 【OK】をクリックします。

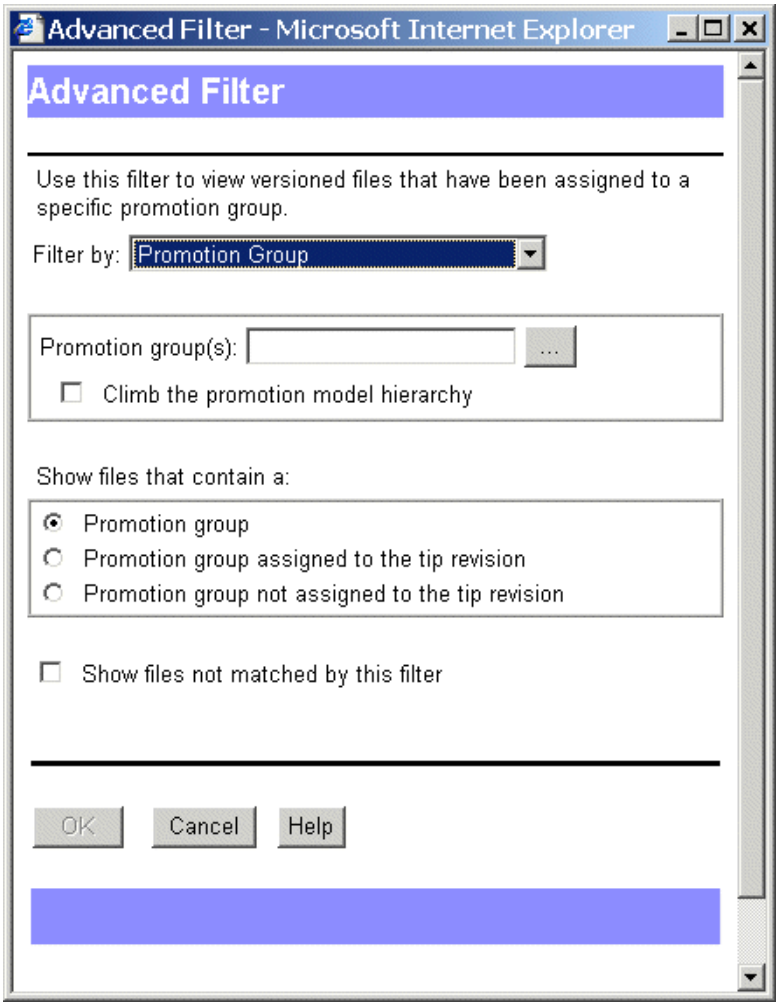
プロモーショングループによるフィルタ

このフィルタを使用して指定したプロモーショングループを含むファイルを検索します。

プロモーショングループフィルタを設定するには、次の操作を行います。

1 ステータス表示部の〈Filter（フィルタ）〉リストで、〈Advanced Filter（詳細フィルタ）〉を選択します。〔Advanced Filter（詳細フィルタ）〕ダイアログボックスが表示されます。

2 〈Filter（フィルタ）〉リストから〈Promotion Group（プロモーショングループ）〉オプションを選択します。



3 フィルタするプロモーショングループの名前を〈Promotion group(s)（プロモーショングループ）〉フィールドに入力するか、参照して選択します。複数のプロモーショングループは区切り文字で区切ります。デフォルトの区切り文字は、セミコロン（;）です。区切り文字の詳細については、52 ページの「フィールドに入力するアイテムの区切り文字の指定」を参照してください。

4 指定したプロモーショングループが見つからなかった場合、フィルタは、次の上位のプロモーショングループを検索し、見つかるまで、または最上層レベルのプロモーションモデルに達するまで、順次プロモーションモデル階層をさかのぼります。この機能を有効にするには、〈Climb the promotion model hierarchy（プロモーションモデルの階層を上げる）〉チェックボックスを選択します。

5 次のオプションの 1 つを選択して、次のリビジョンの中から指定したプロモーショングループが入っているバージョン管理ファイルを表示します。

- すべてのリビジョン：〈Promotion group（プロモーショングループ）〉
- チップリビジョン：〈Promotion group assigned to the tip revision（チップリビジョンに割り当てられているプロモーショングループ）〉
- チップリビジョン以外のリビジョン：〈Promotion group not assigned to tip revision（チップリビジョンに割り当てられていないプロモーショングループ）〉

6 フィルタの論理を反転するには、〈Show files not matched by this filter（このフィルタに合致しないファイルを表示）〉チェックボックスを選択します。

7 【OK】をクリックします。

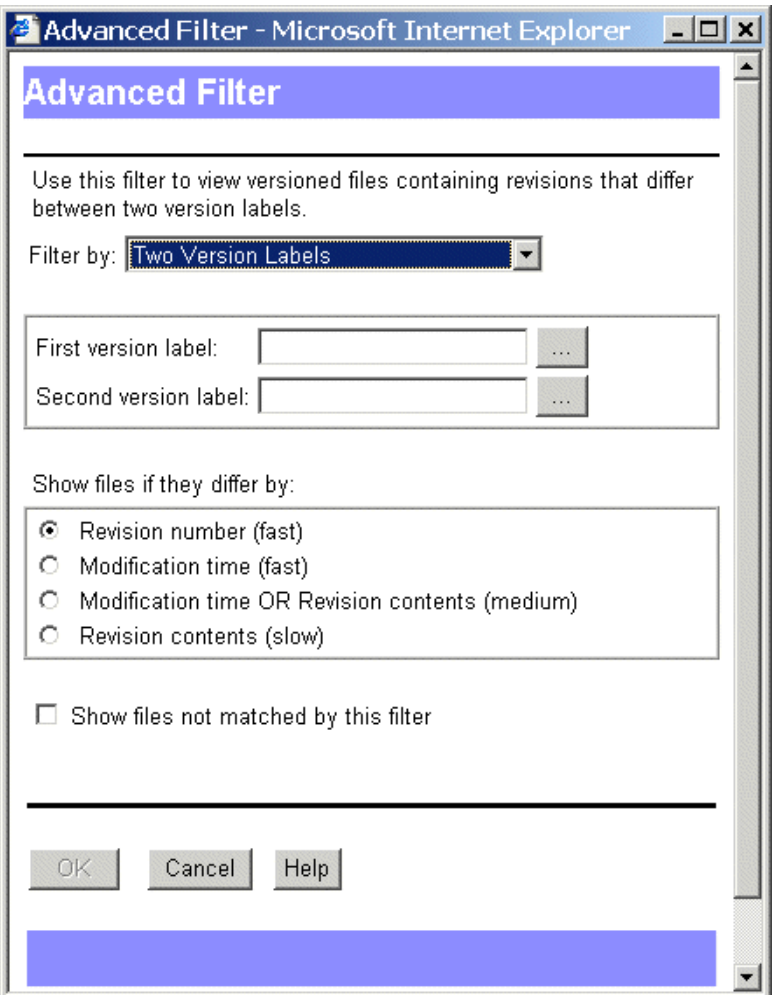
2 つのバージョンラベルを使用した相違点によるフィルタ

このフィルタを使用して、指定した 2 つのバージョンラベル間のリビジョンが異なっているバージョン管理ファイルを検索します。

2 つのバージョンラベルを使用する相違点フィルタを設定するには、次の操作を行います。

1 ステータス表示部の〈Filter（フィルタ）〉リストで、〈Advanced Filter（詳細フィルタ）〉を選択します。〔Advanced Filter（詳細フィルタ）〕ダイアログボックスが表示されます。

2 〈Filter（フィルタ）〉リストから〈Two Version Labels（2 つのバージョンラベル）〉オプションを選択します。



3 フィルタするバージョンラベル名を〈First version label（1 番目のバージョンラベル）〉フィールドに入力するか、参照して選択します。

注記 バージョンラベルでは、大文字小文字が区別されます。大文字小文字を正確に入力してください。

4 フィルタするバージョンラベル名を〈Second version label（2 番目のバージョンラベル）〉フィールドに入力するか、参照して選択します。

5 次のいずれかのオプションを選択して、リビジョンの次の内容に相違点があるバージョン管理ファイルを表示します。

- **〈Revision number（リビジョン番号）〉。**
- **〈Modification time（変更時刻）〉。**
- 〈Modification time OR Revision contents（変更時刻またはリビジョン内容）〉: 最初にリビジョンの変更時刻を比較します。変更時刻に相違点がない場合、リビジョン内容を比較します。同じ変更時刻を持つリビジョンが多数ある場合、このオプションは時間がかかります。
- 〈Revision contents（リビジョン内容）〉: リビジョンの内容を比較します。このオプションは、もっとも長い時間がかかります。

6 フィルタの論理を反転するには、〈Show files not matched by this filter（このフィルタに合致しないファイルを表示）〉チェックボックスを選択します。

7 【OK】をクリックします。

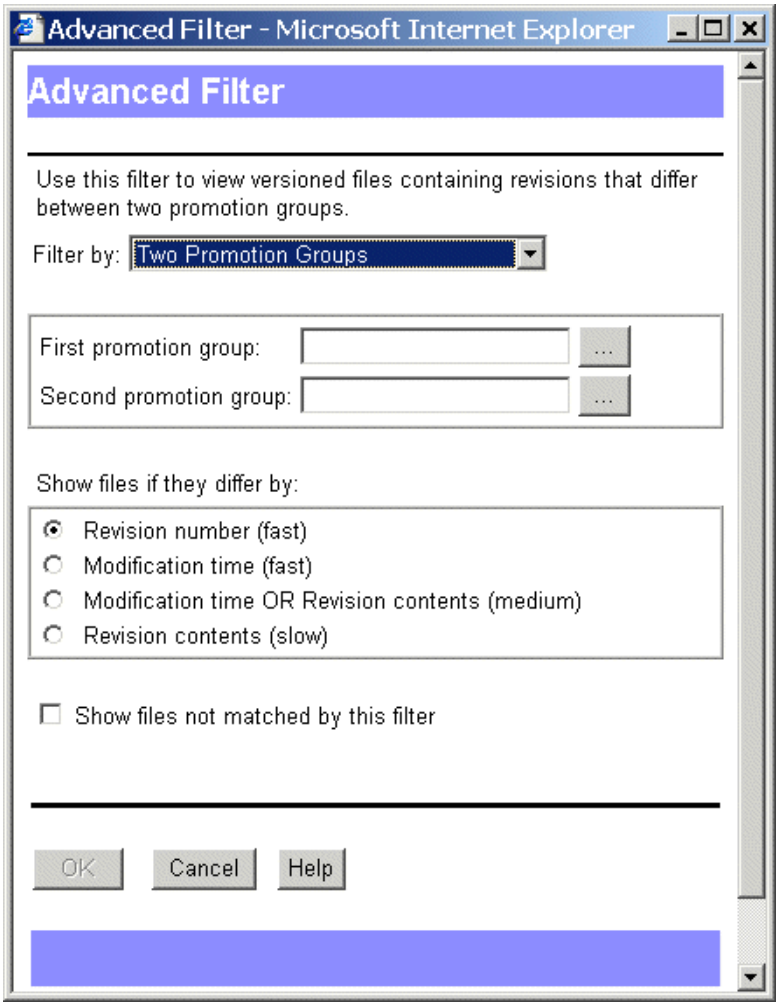
2 つのプロモーショングループを使用した相違点によるフィルタ

このフィルタを使用して、指定した 2 つのプロモーショングループ間のリビジョンが異なっているバージョン管理ファイルを検索します。

2 つのプロモーショングループを使用する、相違点フィルタを設定するには、次の操作を行います。

1 ステータス表示部の〈Filter（フィルタ）〉リストで、〈Advanced Filter（詳細フィルタ）〉を選択します。〔Advanced Filter（詳細フィルタ）〕ダイアログボックスが表示されます。

2 〈Filter（フィルタ）〉リストから〈Two Promotion Groups（2 つのプロモーショングループ）〉オプションを選択します。



3 フィルタ処理するプロモーショングループ名を〈First promotion group（1 番目のプロモーショングループ）〉フィールドに入力するか、参照して選択します。

4 フィルタするプロモーショングループ名を〈Second promotion group（2 番目のプロモーショングループ）〉フィールドに入力するか、参照して選択します。

5 次のいずれかのオプションを選択して、リビジョンの次の内容に相違点があるバージョン管理ファイルを表示します。

- 〈Revision number（リビジョン番号）〉。
- 〈Modification time（変更時刻）〉。
- 〈Modification time OR Revision contents（変更時刻またはリビジョン内容）〉: 最初にリビジョンの変更時刻を比較します。変更時刻に相違点がない場合、リビジョン内容を比較します。同じ変更時刻を持つリビジョンが多数ある場合、このオプションは時間がかかります。
- 〈Revision contents（リビジョン内容）〉: リビジョンの内容を比較します。このオプションは、もっとも長い時間がかかります。

6 フィルタの論理を反転するには、〈Show files not matched by this filter（このフィルタに合致しないファイルを表示）〉チェックボックスを選択します。

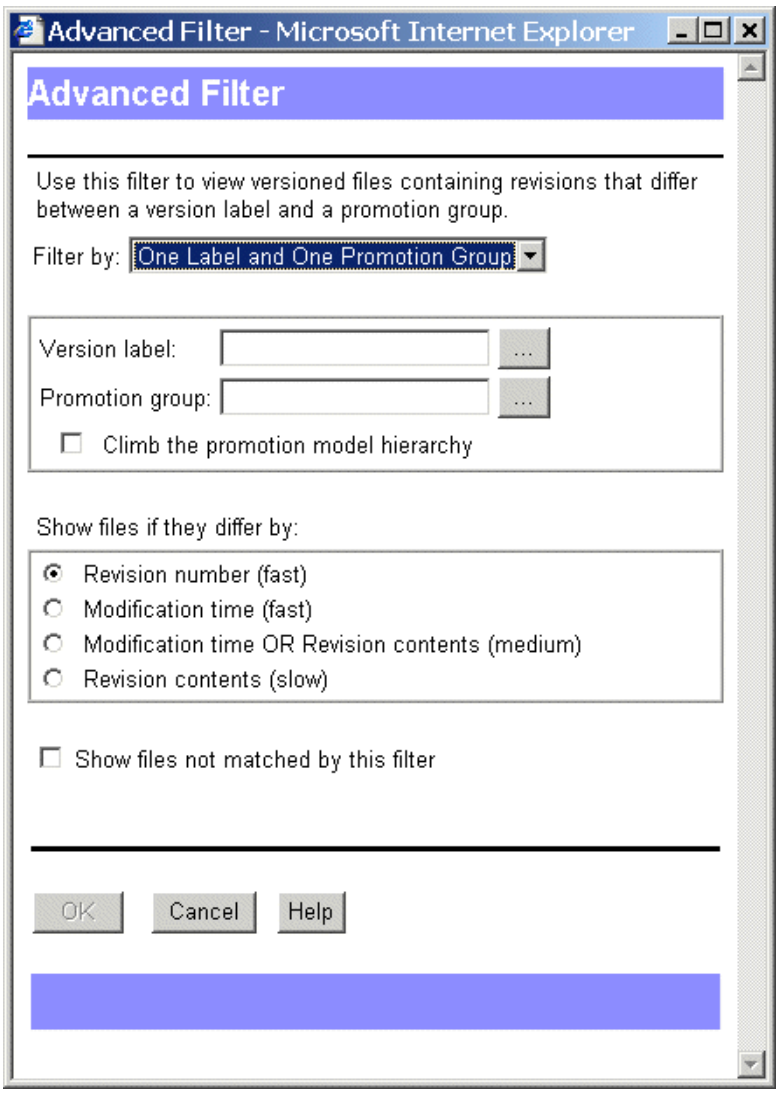
7 【OK】をクリックします。

バージョンラベルとプロモーショングループを使用した相違点によるフィルタ

このフィルタを使用して、指定したバージョンラベルと指定したプロモーショングループのリビジョンが異なっているバージョン管理ファイルを検索します。

バージョンラベルとプロモーショングループを使用した、相違点フィルタを設定するには、次の操作を行います。

1. ステータス表示部の〈Filter（フィルタ）〉リストで、〈Advanced Filter（詳細フィルタ）〉を選択します。〔Advanced Filter（詳細フィルタ）〕ダイアログボックスが表示されます。
2. 〈Filter（フィルタ）〉リストから〈One Label and One Promotion Group（1 つのラベルと 1 つのプロモーショングループ）〉オプションを選択します。



3. フィルタ処理するバージョンラベル名を〈Version label（バージョンラベル）〉フィールドに入力するか、参照して選択します。

注記 バージョンラベルでは、大文字小文字が区別されます。大文字小文字を正確に入力してください。

4 フィルタ処理するプロモーショングループ名を〈Promotion group（プロモーショングループ）〉フィールドに入力するか、参照して選択します。

5 指定したプロモーショングループが見つからなかった場合、フィルタは、次の上位のプロモーショングループを検索し、見つかるまで、または最上層レベルのプロモーションモデルに達するまで、順次プロモーションモデル階層をさかのぼります。この機能を有効にするには、〈Climb the promotion model hierarchy（プロモーションモデルの階層を上げる）〉チェックボックスを選択します。

6 次のいずれかのオプションを選択して、リビジョンの次の内容に相違点があるバージョン管理ファイルを表示します。

- **〈Revision number（リビジョン番号）〉。**
- **〈Modification time（変更時刻）〉。**
- 〈Modification time OR Revision contents（変更時刻またはリビジョン内容）〉: 最初にリビジョンの変更時刻を比較します。変更時刻に相違点がない場合、リビジョン内容を比較します。同じ変更時刻を持つリビジョンが多数ある場合、このオプションは時間がかかります。
- 〈Revision contents（リビジョン内容）〉: リビジョンの内容を比較します。このオプションは、もっとも長い時間がかかります。

7 フィルタの論理を反転するには、〈Show files not matched by this filter（このフィルタに合致しないファイルを表示）〉チェックボックスを選択します。

8 【OK】をクリックします。

全バージョン管理ファイルの表示（フィルタなし）

フィルタされた表示をクリアしてすべてのバージョン管理ファイルを表示するには、ステータス表示部の〈Filter（フィルタ）〉リストから〈All Files（すべてのファイル）〉を選択します。

第 4 章

環境のカスタマイズ

Version Manager Web クライアントのオプションの設定 50

ワークスペースプロパティの設定 54

Version Manager Web クライアントのオプションの設定

Serena ChangeMan Version Manager Web クライアントが表示する 1 ページ当たりのアイテム数、Version Manager Web クライアントがチェックイン / チェックアウト / 取得を処理する方法、サブプロジェクトを含めるかどうか、および結果ダイアログボックスの処理方法を指定することができます。これらのオプションは、ユーザ ID ごとに保存され、次回、Version Manager Web クライアントを起動したときにも有効です。

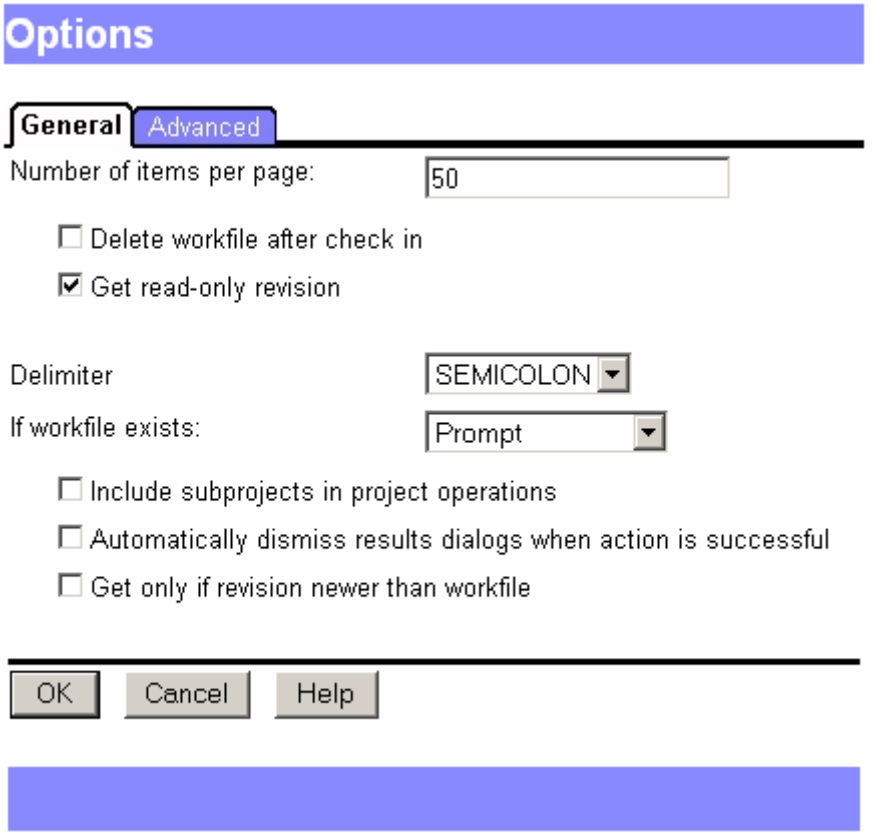
注記 Version Manager Web クライアントに設定するオプションは、設定済みの Version Manager デスクトップクライアントオプションには影響を及ぼしません。

デフォルトの Version Manager Web クライアントオプション

デフォルトを変更しないかぎり、Version Manager Web クライアントは次のように動作します。

- 1 ページの表示アイテム数は最大 50 個です。
- チェックイン後、書き込み禁止の作業ファイルが作業ファイルの場所に残ります。
- 取得を実行すると、書き込み禁止のリビジョンがコピーされます。
- チェックアウト時に作業ファイルがすでに存在する場合、処理の選択画面が表示されます。
- サブプロジェクトは処理対象になりません。
- アクションが正常に終了すると、〔Results（結果）〕ダイアログボックスが表示されます。
- ダイアログボックスのフィールドでは、セミコロン（;）を使用して複数エントリを区切ります。
- 既存の作業ファイルよりも新しいかどうかに関係なく、リビジョンが取得またはチェックアウトされます。

これらのデフォルト設定は、〔Options（オプション）〕ダイアログボックスで変更できます（〔編集（Edit）〕メニュータブで〈Options（オプション）〉アイコンをクリックし、〔General（全般）〕タブを表示）。



1 ページあたりのアイテム数の設定

Version Manager Web クライアントに表示されるファイルの最大数を設定できます。
ファイル数がこの上限を超える場合は、複数ページにわたってファイルが表示されます。内容表示部では、ページ番号、〈Previous（前のページ）〉、または〈Next（次のページ）〉を選択して、これらのページにアクセスすることができます。

1 ページあたりのアイテム数を設定するには、次の操作を行います。

1 〔Edit（編集）〕メニュータブで、〈Options（オプション）〉アイコンをクリックします。
〔Options（オプション）〕ダイアログボックスが開き、〔General（全般）〕タブが表示されます。

2 〈Number of items per page（1 ページあたりの表示数）〉フィールドに、表示するファイル数の最大値を入力します。デフォルト値は 50 です。

3 【OK】をクリックします。

フィールドに入力するアイテムの区切り文字の指定

デフォルトでは、セミコロン（;）を使用してダイアログボックスのフィールド内の複数エントリを区切ります。区切り文字は複数エントリを受け入れるすべてのフィールドで使用します。

名前の中で区切り文字を使用しているアイテムを処理する場合は、区切り文字を変更する必要があります。区切り文字には、コンマ（,）、コロン（:）、またはセミコロン（;）を設定できます。

区切り文字を指定するには、次の操作を行います。

1 〔Edit（編集）〕メニュータブで〈Options（オプション）〉アイコンをクリックします。〔Options（オプション）〕ダイアログボックスが開き、〔General（全般）〕タブが表示されます。

2 〈Delimiter（区切り文字）〉リストから、次のいずれかを選択します。

- **〈Comma（コンマ）〉**
- **〈Colon（コロン）〉**
- 〈Semicolon（セミコロン）〉（デフォルト）

重要！ ダイアログボックスのフィールドに入力するアイテム名の中で使われて「いない」、区切り文字を選択してください。

3 【OK】をクリックします。

チェックイン / チェックアウトオプションの定義

通常、チェックイン / チェックアウト / 取得の処理の実行時にデフォルトオプションを変更することがわかっている場合は、Version Manager Web クライアントで、これらのデフォルト設定を作業スタイルに合わせて変更しておくことができます。

チェックイン / チェックアウト / 取得オプションを変更するには、次の操作を行います。

1 〔Edit（編集）〕メニュータブで〈Options（オプション）〉アイコンをクリックします。〔Options（オプション）〕ダイアログボックスが開き、〔General（全般）〕タブが表示されます。

2 必要に応じて、デフォルト設定を変更します。

- 正常にチェックインした後に作業ファイルの場所から作業ファイルを削除するには、〈Delete workfile after check in（チェックイン後に作業ファイルを削除）〉チェックボックスを選択します。
- 取得の実行時に作業ファイルを書き込み可能にするには、〈Get read-only revision（リビジョンを書き込み禁止で取得）〉チェックボックスを選択解除します。
- 作業ファイルがすでに存在する場合に〈Prompt（確認する）〉以外を選択するには、ドロップダウンリストで〈Overwrite（上書きする）〉または〈Do not overwrite（上書きしない）〉を選択します。
- 作業ファイルよりも新しい場合にのみリビジョンを取得またはチェックアウトするには、〈Get only if revision is newer than workfile（作業ファイルより新しいリビジョンの場合のみ取得）〉チェックボックスを選択します。

3 【OK】をクリックします。

サブプロジェクトをプロジェクト操作対象に追加

プロジェクトデータベースおよびプロジェクトにアクションを実行しても、Version Manager Web クライアントは、プロジェクトデータベースまたはプロジェクトレベルに直接含まれるバージョン管理アイテムに対してアクションを実行するだけです。Version Manager Web クライアントは、デフォルトではバージョン管理ファイルをサブプロジェクトに追加しません。

プロジェクトデータベースおよびプロジェクトに対するアクションの実行時に通常、サブプロジェクトを含めている場合は、サブプロジェクトを含めるようにデフォルト設定を変更します。

サブプロジェクトを含めるには、次の操作を行います。

1. 〔Edit（編集）〕メニュータブで〈Options（オプション）〉アイコンをクリックします。〔Options（オプション）〕ダイアログボックスが開き、〔General（全般）〕タブが表示されます。
2. 〈Include subproject in project operations（処理対象にサブプロジェクトも含める）〉チェックボックスを選択します。
3. 【OK】をクリックします。

正常終了後の画面からの〔Results（結果）〕ダイアログボックスの消去

デフォルトでは、アクション完了後に、アクションが正常に終了したかどうか、またはエラーや警告が発生したかどうかを示すダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスを画面から消去するには、【Close（閉じる）】ボタンをクリックする必要があります。アクションが正常に終了した後にこのダイアログボックスを自動的に閉じる場合は、このデフォルト動作を変更します。

〔Results（結果）〕ダイアログボックスを自動的に画面から消去するには、次の操作を行います。

1. 〔Edit（編集）〕メニュータブで〈Options（オプション）〉アイコンをクリックします。〔Options（オプション）〕ダイアログボックスが開き、〔General（全般）〕タブが表示されます。
2. 〈Automatically dismiss results dialogs when action is successful（正常終了の場合は、結果を自動的に画面から消去）〉チェックボックスを選択します。
3. 【OK】をクリックします。

エラーが発生した場合は、〔Results（結果）〕ダイアログボックスは自動的に閉じません。

デフォルトエディタの設定

デフォルトエディタを設定して、内容表示部でバージョン管理ファイルを選択したとき、またはリビジョン表示部でリビジョンを選択したときに、どのエディタで Version Manager を起動するかを指定します。

Windows

Windows 版の場合、Version Manager は、Windows ファイルタイプで関連付けが定義されているエディタまたは選択した特定のエディタのいずれかでファイルを開きます。デフォルトでは、Version Manager は Windows のファイルタイプの関連付けを使用します。Windows のファイルタイプを使用することをお奨めします。

注記 ファイルをダブルクリックすると正しくないアプリケーションが起動する場合、Windows エクスプローラを使用して Windows ファイルタイプを修正します。

UNIX

UNIX 版の場合は、Version Manager 内で編集または表示するファイルを起動できるように、エディタの場所を定義する必要があります。UNIX 版には、〈Use default Windows associations（Windows のデフォルトの関連付けを使用）〉チェックボックスはありません。

デフォルトエディタを設定するには

1. 〔Edit（編集）〕メニュータブで〈Options（オプション）〉アイコンをクリックします。〔Options（オプション）〕ダイアログボックスが開き、〔General（全般）〕タブが表示されます。
2. 〔Applications（アプリケーション）〕タブを選択します。
3. （Windows 版の場合のみ）エディタの起動に Windows のファイルタイプ関連付けを使用する場合は、〈Use default Windows associations（Windows のデフォルトの関連付けを使用）〉チェックボックスを選択します。
4. 〈Editor Location（テキストエディタの場所）〉テキストボックスにエディタプログラムの実行ファイルのある場所を入力するか、または、【Browse（参照）】をクリックして実行ファイルを選択します。
   - （UNIX 版のみ）独自のウィンドウを起動する非 GUI エディタ（vi など）を指定した場合、そのエディタは、xterm またはそのほかのウィンドウタイプで起動する必要があります。たとえば、〈Editor Location（テキストエディタの場所）〉テキストボックスに次のように入力します。

     `xterm` *`editor path`*

     ここで *`editor path`* には、エディタの場所を入力します。
   - （Windows 版のみ）エディタを指定して、さらに、〈Use default Windows associations（Windows のデフォルトの関連付けを使用）〉チェックボックスを選択した場合は、指定したエディタは、Windows で関連付けられたアプリケーションを見つけることができない場合にのみ使用されます。
5. 【OK】をクリックします。

ワークスペースプロパティの設定

ワークスペースとは、プロジェクトデータベースに対して定義された作業設定の集合です。環境に合わせて作業設定を簡単に変更できるように、複数のワークスペースを定義することができます。各ユーザは、一度に 1 つのアクティブなワークスペースを使用します。作業設定には、次のものが含まれます。

- プロジェクトデータベースおよびその内容に対して定義された作業ファイルの場所。
- リビジョン番号またはバージョンラベルを指定しない場合に使用されるデフォルトバージョン。
- 自動ブランチ（有効な場合）に使用されるベースバージョンおよびブランチバージョン。
- プロモーションモデルが有効な場合に使用されるデフォルトプロモーショングループ。

パブリックワークスペースまたはプライベートワークスペース

ワークスペースには、パブリックとプライベートの 2 種類があります。通常、パブリックワークスペースは、管理者がプロジェクトデータベースの作成時に作成します。パブリックワークスペースに加えられたすべての変更は、そのワークスペースを使用するすべてのユーザに影響を及ぼします。通常、プライベートワークスペースは、ユーザが個人の作業環境に合わせて作業設定をカスタマイズするために作成します。プライベートワークスペースに加えられたすべての変更は、そのワークスペースを作成したユーザにのみ影響を及ぼします。

ルートワークスペース

ルートワークスペースは、デフォルトのパブリックワークスペースです。これは、管理者がプロジェクトデータベースを作成するたびに、自動的に作成されます。ユーザは、ルートワークスペースを削除したり、その名前を変更したりすることはできません。ルートワークスペースの設定は、管理者から必要な権限が割り当てられている場合にのみ変更することができます。

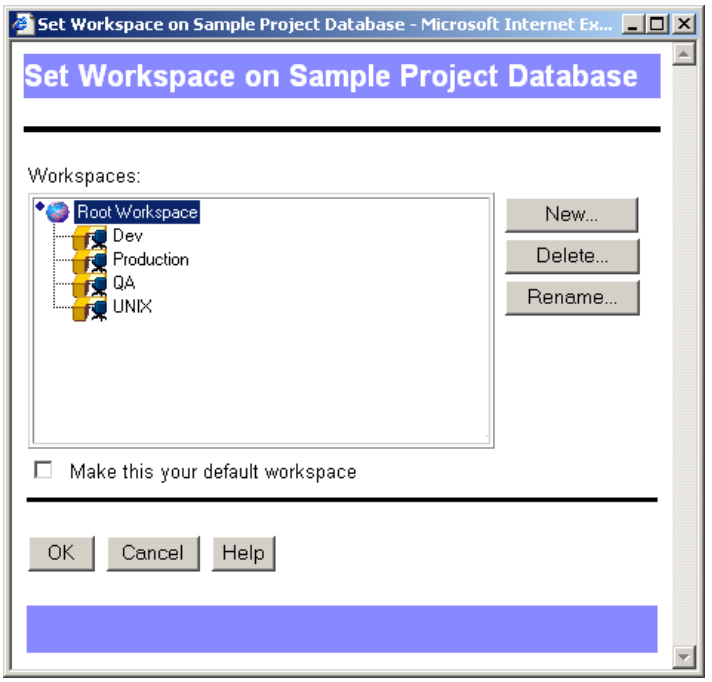
その他のワークスペースの作成や設定を行わない場合は、ルートワークスペースがデフォルトワークスペースとして設定されます。

ワークスペースの設定

Version Manager Web クライアントの使用を開始するときには、使用するワークスペースを指定します。また、そのワークスペースを、別の Web クライアントまたはデスクトップクライアントセッション開始時のデフォルトワークスペースにするかどうかを指定することもできます。

ワークスペースを設定するには、次の操作を行います。

1. 〔File（ファイル）〕メニュータブで〈Set Workspace（ワークスペースの設定）〉アイコンをクリックします。〔Set Workspace（ワークスペースの設定）〕ダイアログボックスが開きます。



2. 〈Workspace（ワークスペース）〉リストから、プロジェクトデータベースとともに使用するワークスペースを選択します。

3. その後の Version Manager Web クライアントセッションおよびデスクトップクライアントセッション用にこのワークスペースをプロジェクトデータベースに関連付けるには、〈Make this your default workspace（デフォルトワークスペースに設定）〉チェックボックスを選択します。このチェックボックスを選択しない場合、このワークスペースは現在の Version Manager Web クライアントセッション中だけ有効です。

4. 【OK】をクリックします。

作業ファイルの場所の設定

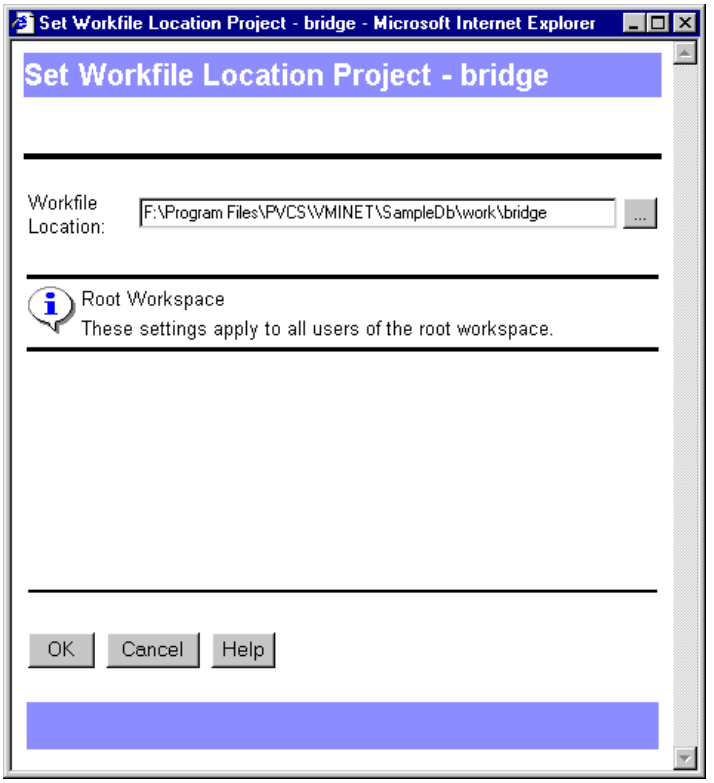
作業ファイルの場所は、作業ファイルをチェックインおよびチェックアウトする場所です。これは、プロジェクトの最初の作成時に設定され、プロジェクトデータベースに割り当てられたワークスペースに格納されます。

プロジェクトデータベース内のすべてのプロジェクトまたはバージョン管理ファイルの作業ファイルの場所を変更することができます。パブリックワークスペースで作業ファイルの場所を変更すると、そのパブリックワークスペースを使用してプロジェクトにアクセスするすべてのユーザの作業ファイルの場所が変更されます。プライベートワークスペースの場合は、作業ファイルの場所を変更しても、ほかのユーザは影響を受けません。

作業ファイルの場所を設定するには、次の操作を行います。

1. プロジェクトデータベース、プロジェクト、またはバージョン管理ファイルを選択します。
2. 〔File（ファイル）〕メニュータブで〈Set Workfile Location（作業ファイルの場所の設定）〉アイコンをクリックするか、または内容表示部で〈Workfile Location（作業ファイルの場所）〉リンクを選択します。

   〔Set Workfile Location（作業ファイルの場所の設定）〕ダイアログボックスが表示されます。



3. 〈Workfile Location（作業ファイルの場所）〉フィールドで、新しい作業ファイルの場所を入力するか、または【Browse（参照）】をクリックしてそのファイルを探します。
4. 【OK】をクリックします。

デフォルトリビジョンの定義

デフォルトでは、バージョン管理ファイルの最新リビジョン（チップ）が、取得、チェックアウト、およびロック処理中に使用されます。ただし、デフォルトリビジョンを特定のバージョンラベルに定義することもできます。

デフォルトリビジョンを定義するには、次の操作を行います。

1. 編集するワークスペースを設定します。
2. 〔File（ファイル）〕メニュータブで〈Properties（プロパティ）〉アイコンをクリックします。〔Properties（プロパティ）〕ダイアログボックスが開きます。
3. 〈Default Version（デフォルトバージョン）〉フィールドにバージョンラベルを入力し、【OK】をクリックします。

自動ブランチの有効化

自動ブランチを使用すると、トランクリビジョンから自動的にブランチを作成することができます。ブランチ作成後、デフォルトでは、アクションを実行するときはつねにそのブランチのチップリビジョンで処理が行われます。

自動ブランチをセットアップするには、ブランチするリビジョンに 2 つの固定バージョンラベルを割り当てます。これらのバージョンラベルのうち、1 つはブランチの開始場所をマークし、もう 1 つはブランチのチップをマークします。次に、アクティブワークスペースでこれらのバージョンラベルを指定します。

注記 自動ブランチをセットアップする前に、必要なセキュリティ権限が付与されていることを管理者に確認します。また、同じプロジェクトチームのほかのユーザと、バージョンラベルの名前を調整します。

自動ブランチを有効にするには

1. 自動ブランチを有効にするバージョン管理ファイルを選択します。
2. 〔Actions（アクション）〕メニュータブで【Label（ラベル）】アイコンをクリックします。〔Version Label（バージョンラベル）〕ダイアログボックスが開きます。
3. 固定バージョンラベルをリビジョンに割り当てます。
   - **a** 〈Assign（割り当て）〉ラジオボタンを選択します。
   - **b** 〈Assign Version Label（バージョンラベルの割り当て）〉フィールドにバージョンラベルの名前を入力します。たとえば、「バージョン 1.0 ベース）」と入力します。
   - **c** 〈To revision（割り当てるリビジョン）〉フィールドにリビジョン番号を入力します。
   - **d** 【OK】をクリックします。

   このバージョンラベルがベースバージョンになります。
4. 手順 2 および手順 3 を繰り返して、別の固定バージョンラベルをリビジョンに割り当てます。たとえば、「バージョン 1.5 ブランチ」を割り当てます。

   このバージョンラベルがブランチバージョンになります。
5. バージョン管理ファイルを含むプロジェクトまたはプロジェクトデータベースを選択します。

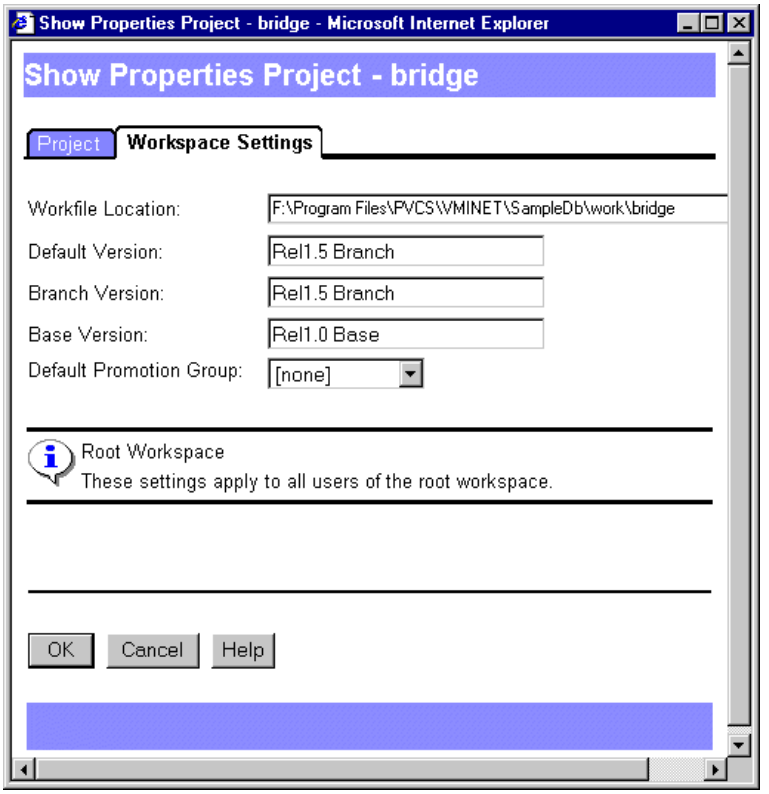
6 〔File（ファイル）〕メニュータブで【Properties（プロパティ）】アイコンをクリックします。〔Properties（プロパティ）〕ダイアログボックスが表示されます。

7 〔Workspace Settings（ワークスペースの設定）〕タブで、次の操作を行います。

a 〈Default Version（デフォルトバージョン）〉フィールドにブランチバージョン用のバージョンラベルを入力します。これは、手順 4 で割り当てたラベル（「バージョン 1.5 ブランチ」など）です。

b 〈Branch Version（ブランチバージョン）〉フィールドにブランチバージョン用のバージョンラベルを入力します。これは、手順 4 で割り当てたラベル（「バージョン 1.5 ブランチ」など）です。

c 〈Base Version（ベースバージョン）〉フィールドにベースバージョン用のバージョンラベルを入力します。これは、手順 3 で割り当てたラベル（「バージョン 1. 0 ベース」など）です。



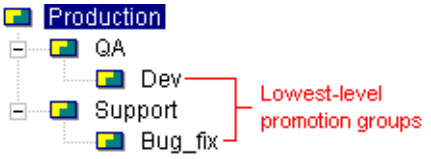
8 【OK】をクリックします。

リビジョンをチェックアウトし、再びチェックインすると、Version Manager Web クライアントはブランチを作成します。そのブランチバージョンラベルは、ブランチのチップとともに移動します。

デフォルトプロモーショングループの定義

リビジョンは、開発用に確保された最下位のプロモーショングループにのみチェックアウトできます。リビジョンをチェックアウトおよびロックする場合は、そのリビジョンが到達したプロモーションレベルにかかわらず、リビジョンを最下位のプロモーショングループに割り当てて、開発を継続する必要があります。

複数の開発用プロモーショングループがある場合は、チェックアウトまたはロックしているリビジョンに割り当てるプロモーショングループを選択する画面が表示されます。次の例では、Dev か Bug_fix のどちらかを選択します。



つねにリビジョンを同じ最下位のプロモーショングループにチェックアウトしていることがわかっている場合は、デフォルトで使用する最下位のプロモーショングループを指定することができます。ワークスペースでデフォルトの最下位のプロモーショングループを指定します。

デフォルトプロモーショングループを定義するには

1. 編集するワークスペースを設定します。55 ページの「ワークスペースの設定」を参照してください。
2. 〔File（ファイル）〕メニュータブで【Properties（プロパティ）】アイコンをクリックします。〔Properties（プロパティ）〕ダイアログボックスが表示されます。
3. 〈Default Promotion Group（デフォルトプロモーショングループ）〉リストから、最下位のプロモーショングループを選択します。
4. 【OK】をクリックします。

第 5 章

ファイルの比較

ファイルの比較について	62
相違点の表示	62
相違点の解釈	64

ファイルの比較について

並べて比較する

Serena ChangeMan Version Manager では、2 つのテキストファイルを横に並べて、ファイルに行われた追加、削除および変更を比較できます。バイナリファイルは比較できません。

リビジョンや作業ファイルを比較する

［Actions（アクション）］メニューの［Difference（相違点）］を選択し、〈Show Differences（相違点の表示）〉オプションを選択すると、以下のアイテムを比較できます。

- リビジョンと作業ファイル
- 同じバージョン管理ファイルのリビジョン
- 2 つのバージョン管理ファイルの 2 つのリビジョン
- 2 つの作業ファイル

表示のみ

〈Show Differences（相違点の表示）〉オプションを使用すると、2 つのファイルを簡単に比較できます。ただし、比較結果の印刷や保存を行うことはできません。

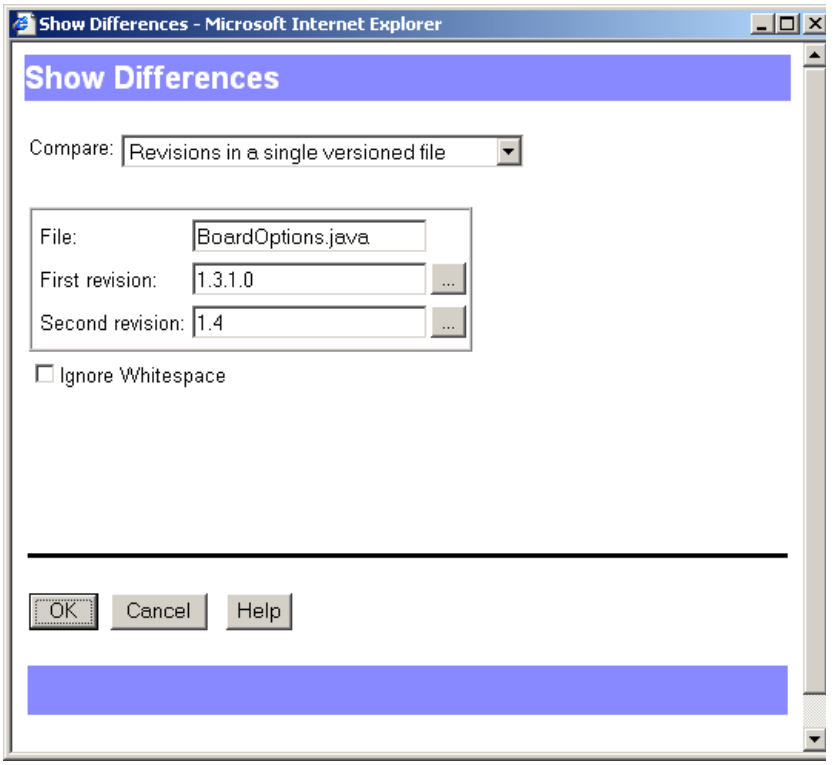
相違点の表示

ファイル間の相違点を表示するには、次の操作を行います。

1. 比較するバージョン管理ファイルまたはリビジョンを選択します。任意のテキストファイルを選択できます

注記 別々のプロジェクト（ただし、同じプロジェクトデータベース内）にあるリビジョンを比較するには、プロジェクトデータベースを選択します。異なるプロジェクトデータベースにあるリビジョンは比較できません。

2 ［Action（アクション）］メニューの［Difference（相違点）］を選択します。〔Show Differences（相違点の表示）〕ダイアログボックスが表示されます。



注記 〔Show Differences（相違点の表示）〕ダイアログボックスの内容は、選択した比較の種類によって異なります。

3 〈**Compare（比較）**〉ドロップダウンリストで、実行する比較の種類を選択します。

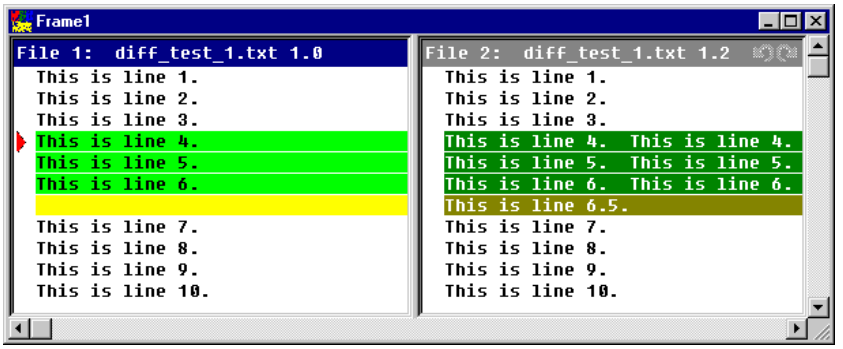
比較する内容	選択するアイテム
リビジョンと作業ファイル	バージョン管理ファイルとリビジョン番号、作業ファイル
同じバージョン管理ファイルのリビジョン	バージョン管理ファイルとリビジョン番号、2 つ目のリビジョン番号
2 つのバージョン管理ファイルのリビジョン	2 つのバージョン管理ファイルとそれぞれのリビジョン番号
作業ファイル	2 つの作業ファイル

4 〈File 1（ファイル 1）〉グループボックスでファイルまたはリビジョンを変更する場合は、【Browse（参照）】をクリックして別のファイルまたはリビジョンを選択します。

5 〈File 2（ファイル 2）〉グループボックスでファイルまたはリビジョンを変更する場合は、【...（...）】をクリックして別のファイルまたはリビジョンを選択します。

6 空白やタブ、改ページを無視する場合は、〈Ignore white space（空白を無視する）〉チェックボックスを選択します。

7 【OK】をクリックします。Merant Merge Tool が起動して、2 つのファイルが横に並んで別々の表示部に表示されます。



8 相違点を見るには、ファイルをスクロールして色のついたテキストブロックを比較します。

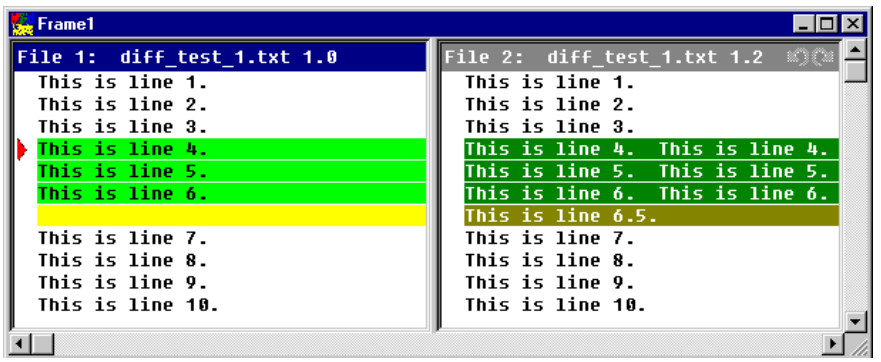
Windows 版ユーザは、〈Next Difference（次の相異行）〉アイコン をクリックすることによって、異なる箇所を直接表示することができます。

相違点の解釈

相違点の種類　ファイル 1 はベースファイルとして使用されます。ファイル 2 をファイル 1 と比較します。ファイル間の相違点は、追加行、削除行および変更行に分類されます。

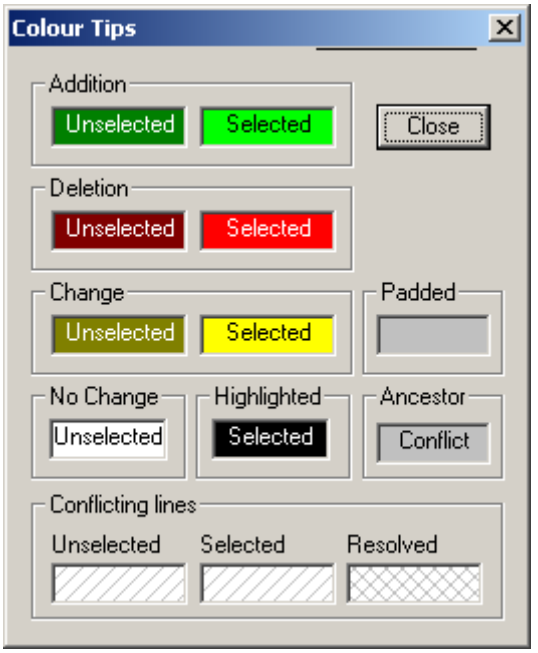
- 「**追加行**」はファイル 2 で追加されたテキスト行です。このテキスト行はファイル 1 にはありません。
- 「**削除行**」はファイル 2 で削除されたテキスト行です。このテキスト行はファイル 1 にはあります。
- 「**変更行**」はどちらかのファイルで編集されているテキスト行です。

プレースホルダ　ファイル間の相違点の種類を区別するのに使用される色の帯です。相違点の種類（追加行、削除行または変更行）ごとに 2 つのプレースホルダ（色）が割り当てられています。1 つは採用を表し、もう 1 つは不採用を表します。



Windows 版ユーザ　Windows 版ユーザは、プレースホルダの色を変更できます。色を変更するには、Merant Merge Tool の〈Configuration（詳細設定）〉アイコン をクリックして、表示されるダイアログボックスの〔Colors（表示色）〕タブをクリックします。

Windows 版ユーザは、色の説明を表示させて、それぞれの色が何を表しているのかを見ることができます。色の説明を表示するには、Merant Merge Tool の〈Color Tips（色の確認）〉アイコン を選択します。〔Color Tips（色の確認）〕ダイアログボックスが表示されます。



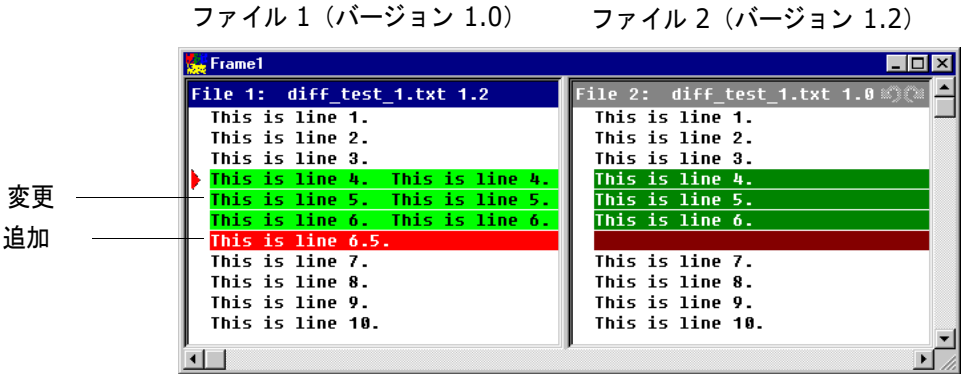
相違点の例

以下の例は、ファイル 1（ベースファイル）として選択したファイルによって、ファイルの相違点がどのように変わるかを示しています。

例 1　この例は、同じバージョン管理ファイルからの 2 つのリビジョンを比較しています。バージョン 1.0 がファイル 1（ベースファイル）として選択されており、バージョン 1.2 がファイル 2 として選択されています。

番号 4、5、6 の行は変更されており、相違点として強調表示されています。これらの相違点は変更プレースホルダで区別されています。7 番めの行は、ファイル 2 で追加されたもので、これも相違点として表示されています。この相違点は追加プレースホルダで区別されています。

例 2　同じ例を使用し、ファイルの順番を入れ替えると、以下の結果になります。



番号 4、5、6 の行は、列 1 と同様に、変更プレースホルダによって相違点として強調表示されています。しかし、追加行である番号 6.5 の行は、ファイル 1（ベースファイル）にはありますが、ファイル 2 にはありません。この相違点は削除プレースホルダで区別されています。

第 6 章

ファイルのマージ

マージについて	68
Windows または UNIX でのファイルのマージ	69
Windows 版での相違点の解釈	73
UNIX 版での相違点の解釈	75
Windows 版でのファイル間の競合の解決	76
UNIX 版でのファイル間の競合の解決	77

マージについて

マージとは

マージとは、共通のベースファイルを持つ 2 つ（または、それ以上）のテキストファイル、またはテキストファイルのリビジョン間の相違点を比較し、それらを受け入れたり、取り除いたりしながら、変更を新規のテキストファイルに統合していくプロセスです。

バイナリファイルは比較したり、マージしたりはできません。

ファイルをマージする理由

マージは並行開発の際に便利です。マージを利用すると、開発のブランチで実行された作業を統合して、開発のメインラインに組み込むことができます。

マージの種類

Serena ChangeMan Version Manager では、以下の組み合わせをマージできます。

- リビジョンと作業ファイル
- 同じバージョン管理ファイルのリビジョン
- 2 つのバージョン管理ファイルのリビジョン
- 作業ファイル

Windows 版ユーザ

Windows 版の Version Manager は、N 通り（無制限）のマージを実行できます。Version Manager から選択できるファイルは 3 つ（1 つのベースファイルと 2 つのブランチファイル）のみですが、Serena ChangeMan Merge Tool を起動すると、N 通りのマージを実行できます。N 通りのマージを実行する方法については、Serena ChangeMan Merge Tool オンラインヘルプを参照してください。

UNIX ユーザ

UNIX 版 Version Manager では、2 通り（ベースファイルとブランチファイル）のマージを実行できます。3 通り以上のマージはサポートされていません。

マージの用語と定義

次のリストは、マージに関する用語とその定義です。

用語	定義
ベースまたは元ファイル	ほかのファイルが派生したベースファイル。
ブランチまたは比較ファイル	ベースファイルを変更して得られた結果。
出力またはターゲット	最終マージファイル。
追加行	ブランチファイルに追加されたテキスト行。このテキスト行はベースファイルにはありません。
削除行	ブランチファイルから削除されたテキスト行。このテキスト行はベースファイルにはあります。
変更行	ブランチファイルのひとつで修正されたテキスト行。このテキスト行の内容は、ブランチファイルとベースファイルとでは異なります。
競合行（Windows 版のみ）	複数のブランチファイルで修正されたテキスト行。このテキスト行の内容は、ブランチファイルとベースファイルとでは異なります。

注記 UNIX 版では、「変更行」は「競合」とみなされるので、ユーザが解決する必要があります。

マージプロセス

マージは、以下のプロセスからなります。

- 出力（ターゲット）ファイルをチェックインする先のブランチまたはトランクのチップをロックする
- 参照ポイントとしてベースファイル（元ファイル）を選択する
- リビジョンブランチファイル（比較ファイル）を選択する
- 出力（ターゲット）ファイル名を入力する
- 変更を採用または不採用にして、ベースファイルとブランチファイルの競合を解決する
- 出力（ターゲット）ファイルに変更を保存する
- 出力ファイルをチェックインする

ベースファイルの選択

ベースファイルは、基準点として使用するファイルです。これは通常、ブランチが開始されるリビジョン、つまり、ブランチポイントです（通常は、開発のメイントランクから分岐）。

別々のブランチまたはバージョン管理ファイルにあるリビジョンをマージする場合は、選択するベースファイルが、マージする「すべての」リビジョンに共通の元ファイルの中で最新のリビジョンまたはファイルである必要があります。

重要！ UNIX 版のみ

UNIX 上で、ブランチのリビジョンとトランクのリビジョンをマージ、もしくは比較する際には、ベースファイルを最新のトランクのリビジョンに設定し、その後に最新のブランチのリビジョンをブランチファイルとして選択する必要があります。

ベースファイルの内容がマージするファイルの内容に近いほど、解決しなければならない競合が減ります。たとえば、リビジョン 1.2.1.2 の変更とリビジョン 1.4.1.1 をマージする場合は、リビジョン 1.2 をベースファイルとして使用します。リビジョン 1.1 または 1.0 をベースファイルとして使用することもできますが、マージを行うファイルにもっとも近いリビジョンを選択することをお勧めします。

Windows または UNIX でのファイルのマージ

ファイルをマージするには、次の操作を行います。

1. マージの結果を追加するブランチまたはトランクのチップをロックします。
2. マージするバージョン管理ファイルまたはリビジョンを選択します。

   マージするファイルを選択する場合は、以下を考慮に入れてください。

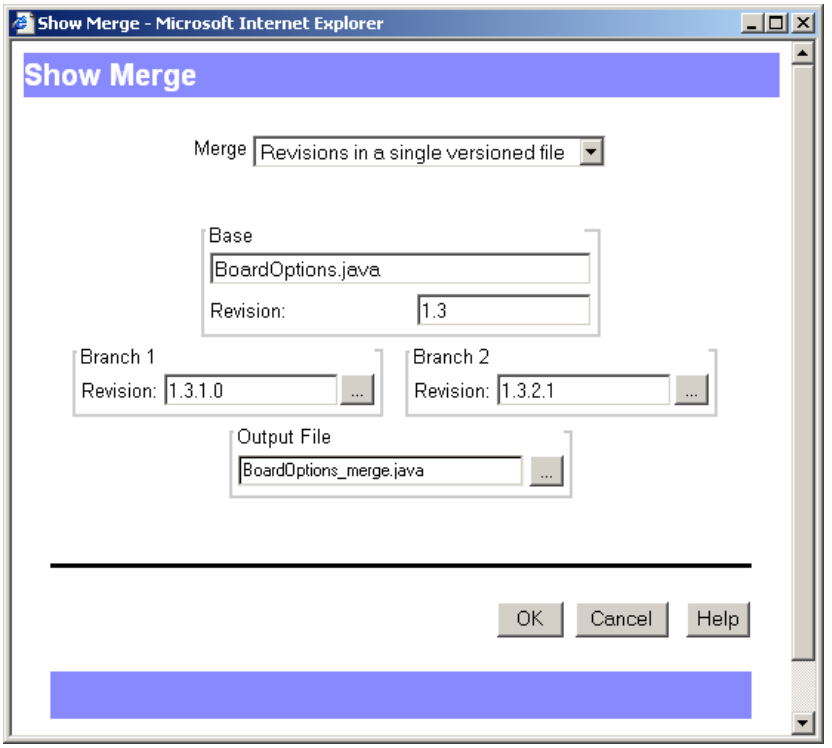
   - ファイルがベースファイルになるか、ブランチファイルになるかは、ファイルを選択する順序によって決まります。最初に選択したファイルがベースファイルになり、2 番目および 3 番目（Windows 版のみ）に選択したファイルがブランチファイルになります。

- 選択したアイテム（プロジェクト、バージョン管理ファイルまたはリビジョン）によって、表示される初期オプションが異なります。

注記 〔Show Merge（マージを表示）〕ダイアログボックスが表示されている場合、このオプションを変更できます。

- （UNIX 版のみ）トランクとブランチのリビジョンをマージするには、ベースファイルをトランクのチップリビジョンに、ブランチファイルをブランチのチップリビジョンに設定する必要があります。
- 別々のプロジェクト（ただし、同じプロジェクトデータベース内）にあるリビジョンをマージするには、プロジェクトデータベースを選択します。別々のプロジェクトデータベースにあるリビジョンをマージすることはできません。
- （Windows 版のみ）2 つのファイルのみをマージする場合は、〈Base（ベース）〉フィールドと〈Branch 1（ブランチ 1）〉フィールドにそれぞれ同じファイルを入力します。そして、〈Branch 2（ブランチ 2）〉フィールドに 2 番目のファイルを入力します。

3 ［Actions（アクション）］－［Merge（マージ）］を選択します。〔Show Merge（マージの表示）〕ダイアログボックスが表示されます。



注記 〔Show Merge（マージの表示）〕ダイアログボックスの内容は、選択したマージの種類によって異なります。

4 〈Merge（マージ）〉ドロップダウンリストで、実行するマージの種類を選択します。

マージの対象	Windows の場合に指定する項目	UNIX の場合に指定する項目
リビジョンと作業ファイル	ベースファイルとリビジョン番号、ブランチリビジョン番号、ブランチ作業ファイル	ベースファイルとリビジョン番号、ブランチ作業ファイル
同じバージョン管理ファイルのリビジョン	ベースファイルとリビジョン番号、2 つのブランチリビジョン番号	ベースファイルとリビジョン番号、ブランチリビジョン番号
2 つのバージョン管理ファイルのリビジョン	ベースファイルとリビジョン番号、2 つのブランチファイルとリビジョン番号	ベースファイルとリビジョン番号、ブランチファイルとリビジョン番号
作業ファイル	ベース作業ファイルと 2 つの作業ファイル	ベース作業ファイルとブランチ作業ファイル

5 〈Base（ベース）〉グループのファイルまたはリビジョンを変更する場合は、【Browse（参照）】ボタンをクリックして別のファイルまたはリビジョンを選択します。

注記 UNIX 版のみ

UNIX 版でトランクとブランチリビジョンをマージするには、ベースファイルをトランクのチップリビジョンに設定する必要があります。

6 〈Branch 1（ブランチ 1）〉（Windows 版）または〈Branch（ブランチ）〉（UNIX 版）グループボックスのファイルまたはリビジョンを変更する場合は、【Browse（参照）】ボタンをクリックして別のファイルまたはリビジョンを選択します。

注記 UNIX 版のみ

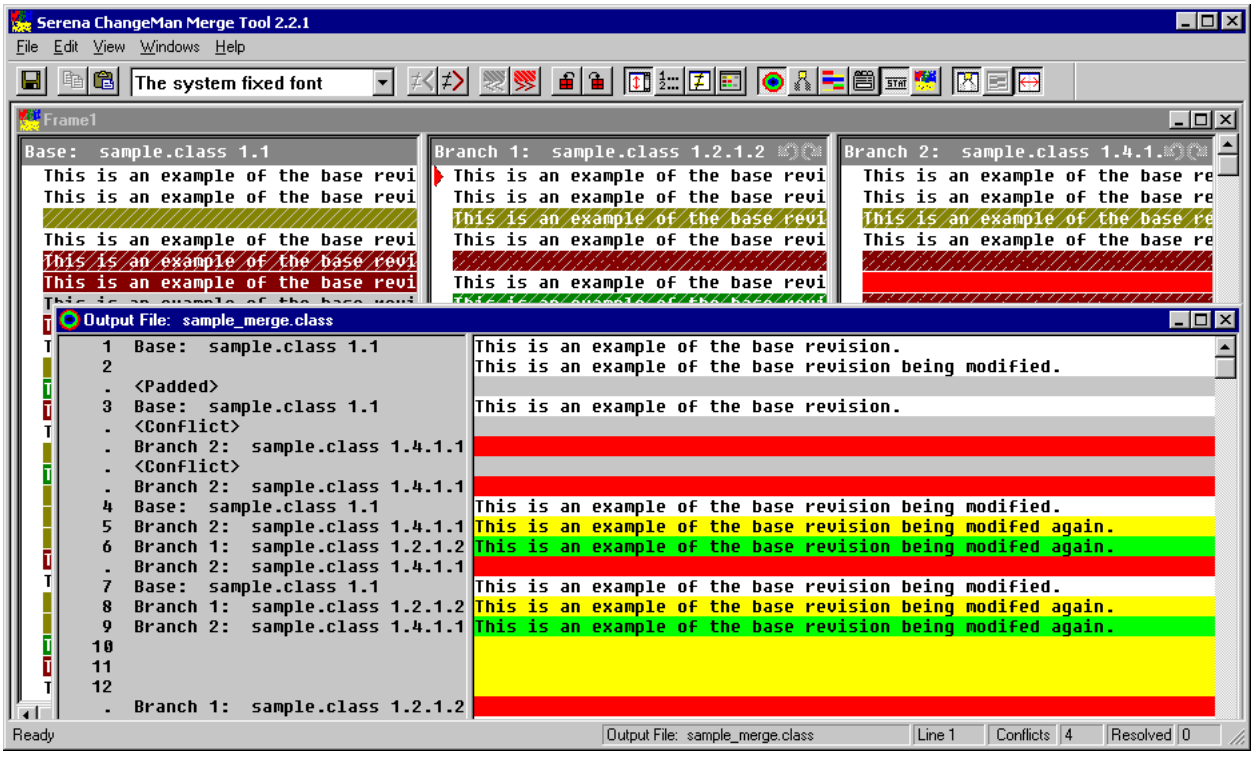
UNIX 版でトランクとブランチリビジョンをマージするには、ベースファイルをトランクのチップリビジョンに設定する必要があります。

7 （Windows 版のみ）〈Branch 2（ブランチ 2）〉グループのリビジョンまたはファイルを変更する場合は、【Browse（参照）】ボタンをクリックして別のファイルまたはリビジョンを選択します。

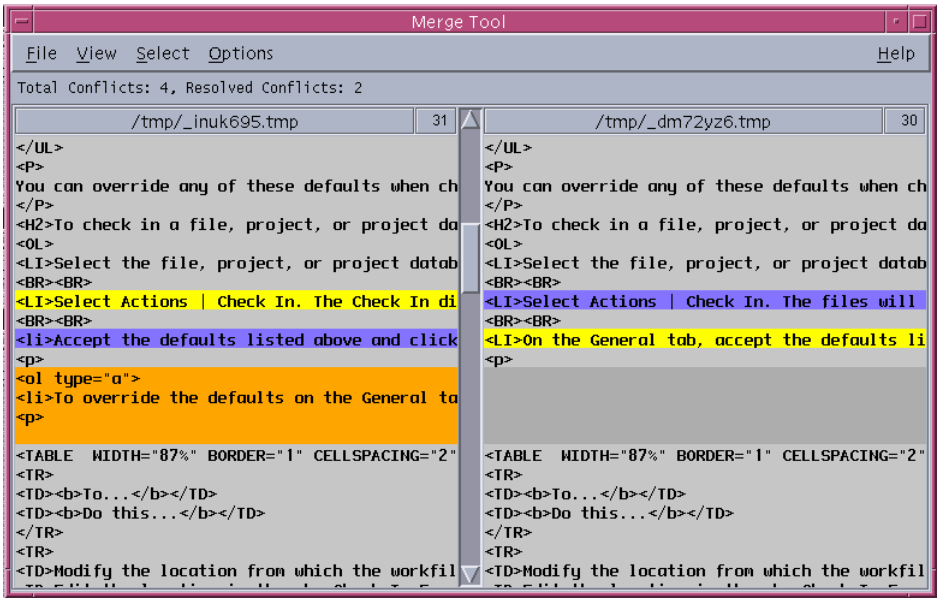
8 〈Output File（出力ファイル）〉テキストボックスに、出力（ターゲット）ファイルの名前を入力するか、【Browse（参照）】をクリックして既存の作業ファイルを選択します。

注記 出力ファイル名をパスなしで入力した場合は、出力ファイルは Version Manager インストールディレクトリの BIN ディレクトリに作成されます。選択した場所にすでに同じファイル名が存在する場合は、古いファイルは上書きされます。

9 【OK】をクリックします。Windows 版では、ベースファイルとブランチファイルが〔Frame（フレーム）〕ウィンドウに表示され、マージ結果が〔Output File（出力ファイル）〕ウィンドウに表示されます。



UNIX 版では、ベースファイルとブランチファイルが〔Merge Tool（Merge Tool）〕ウィンドウに表示されます。



10 ベースファイルとブランチファイルとの間の競合を解決します。競合の解決方法については、次のいずれかを参照してください。

- 76 ページの「Windows 版でのファイル間の競合の解決」
- 77 ページの「UNIX 版でのファイル間の競合の解決」

11 マージの結果を出力ファイルに保存するには、次のいずれかを実行します。

- Windows 版では、[File(ファイル)] ー[Save Target(ターゲット の保存)] を選択します。
- UNIX 版では、[File（ファイル)] ー [Save As（別名保存)] を選択して【OK】をクリックします。

> **注記** 出力パスまたはファイル名を入力し直す必要はありません。

12 出力ファイルを開いて確認します。マージの結果が満足できるものであれば、手順 1 で選択したブランチまたはトランクのチップに出力ファイルをチェックインします。

Windows 版での相違点の解釈

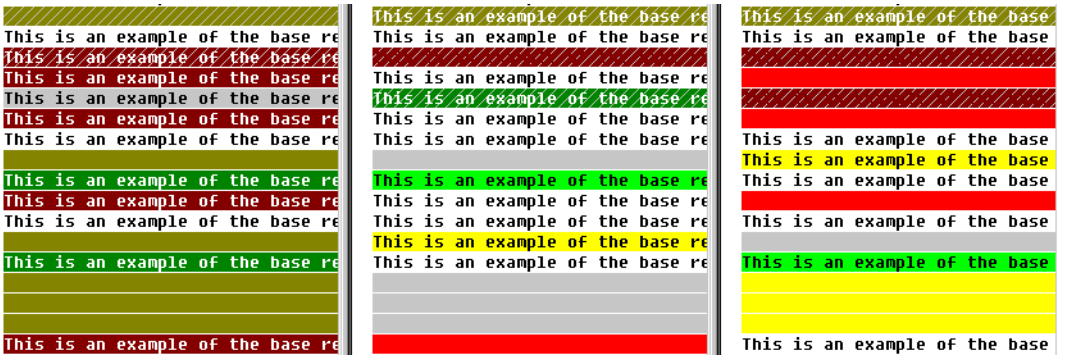
相違点の種類

ベースファイルとして選択したファイルは、出力ファイルの基本として使用されます。ブランチ 1 とブランチ 2 はベースファイルと照らし合わせて比較されます。ベースファイルとブランチファイルとの間の相違点は、追加行、削除行、変更行のいずれかで分類されます。

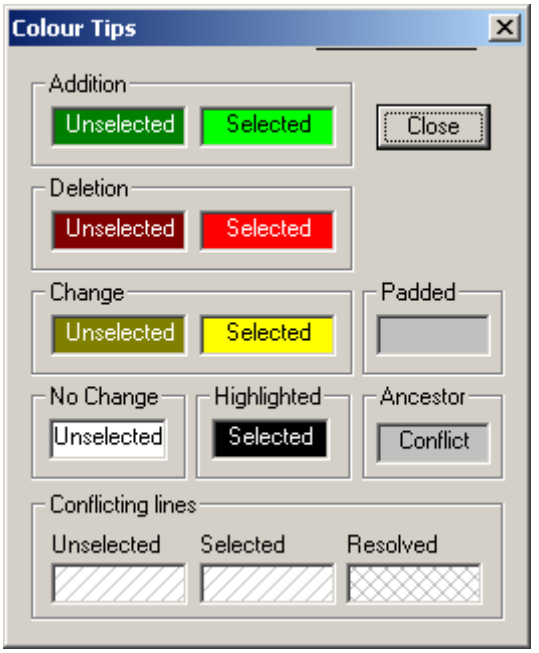
- **追加行**はブランチファイルに追加されたテキスト行です。このテキスト行はベースファイルにはありません。
- **削除行**はブランチファイルから削除されたテキスト行です。このテキスト行はベースファイルにあります。
- **変更行**はブランチファイルのひとつで修正されたテキスト行です。このテキスト行の内容は、ブランチファイルとベースファイルとでは異なります。
- **競合行**は複数のブランチファイルで修正されたテキスト行です。このテキスト行の内容は、ブランチファイルとベースファイルとでは異なります。

プレースホルダ

プレースホルダは、ファイル間の相違点の種類を区別するのに使用される色の帯です。相違点の種類（追加行、削除行または変更行）ごとに 2 つのプレースホルダ（色）が割り当てられています。1 つは採用を表し、もう 1 つは不採用を表します。



色の説明を表示　色の説明を表示して、それぞれのプレースホルダの意味を確認することもできます。色の説明を表示するには、Serena ChangeMan Merge Tool から【Color Tips（色の確認）】アイコン をクリックします。〔Color Tips（色の確認）〕ダイアログボックスが表示されます。



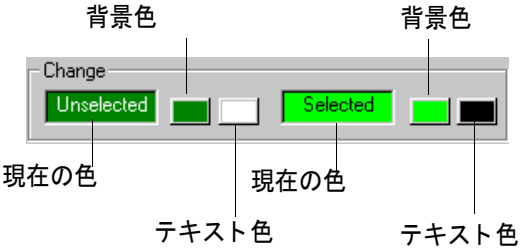
プレースホルダの色の変更

プレースホルダの色を変更するには、次の操作を行います。

1　【Configuration（詳細設定）】アイコン をクリックします。

2　〔Colors（表示色）〕タブを選択します。

3　変更する背景色またはテキスト色のボックスをクリックします。

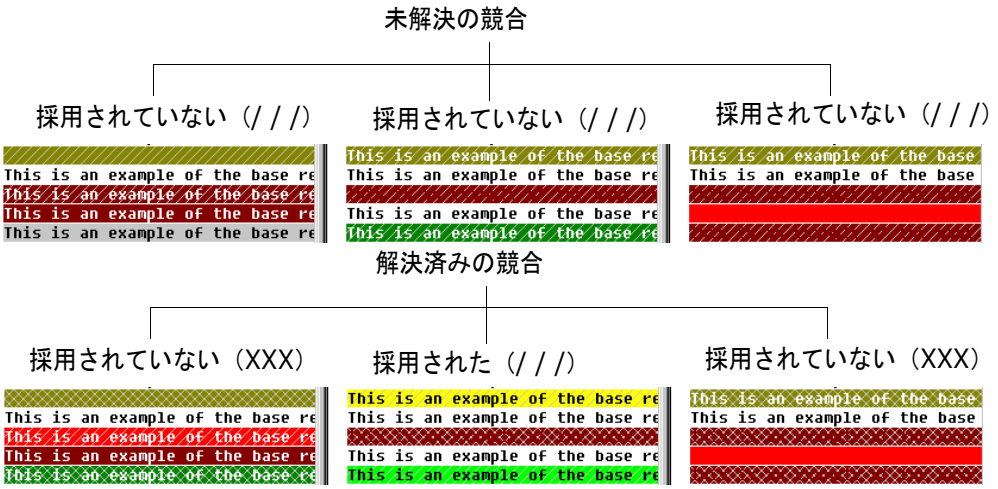


4　色のパレットから新しい色を選択して【OK】をクリックします。

競合

複数のブランチファイルの行の内容がベースファイルの行の内容と異なる場合に競合が起こります。

デフォルトでは、競合が起こったテキスト行には右斜線（/ / /）でシェードがつけられます。競合を解決すると、採用されたテキスト行にはこれらのシェードは残りますが、採用されなかったブロックのシェードは、右斜線から網目（XXX）に変わります。



競合のシェードの変更

競合のシェードを変更するには、次の操作を行います。

1 【Configuration（詳細設定）】アイコン をクリックします。

2 〔Colors（表示色）〕タブを選択します。

3 〈Conflicting lines - Unselected, Selected and Resolved（競合行 - 採用されていない / 採用された / 解決済み）〉ドロップダウンリストから、シェードパターンを選択します。

UNIX 版での相違点の解釈

相違点の種類

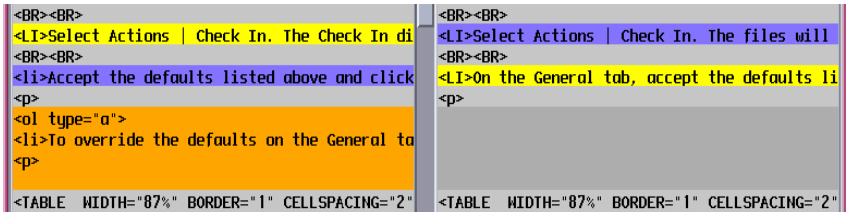
ベースファイルとして選択したファイルは、出力ファイルの基本として使用されます。ブランチファイルはベースファイルと照らし合わせて比較されます。ベースファイルとブランチファイルとの間の相違点は、追加、削除、変更のいずれかで分類されます。

- **追加行**はブランチファイルに追加されたテキスト行です。このテキスト行はベースファイルにはありません。
- **削除行**はブランチファイルから削除されたテキスト行です。このテキスト行はベースファイルにあります。
- **変更行**はブランチファイルで修正されたテキスト行です。このテキスト行の内容は、ブランチファイルとベースファイルとでは異なります。

注記 UNIX 版では、「変更行」は「競合」とみなされるので、ユーザが解決する必要があります。

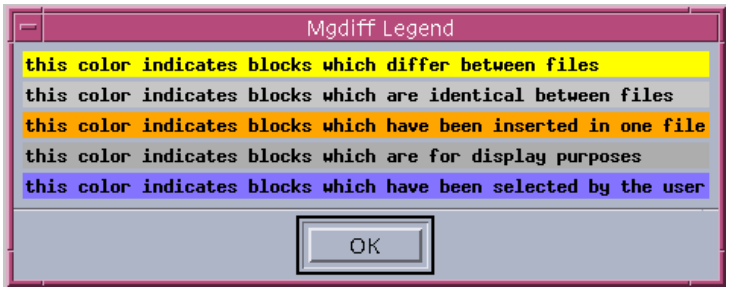
プレースホルダ

プレースホルダは、ファイル間の相違点の種類を区別するのに使用される色の帯です。相違点の種類（追加行、削除行または変更行）ごとに 2 つのプレースホルダ（色）が割り当てられています。1 つは採用を表し、もう 1 つは不採用を表します。



色の説明を表示

色の説明を表示して、それぞれの色が何を表しているのかを示すこともできます。色の説明を表示するには、Serena ChangeMan Merge Tool から［Help（ヘルプ）］－［Color Legend（色の説明）］を選択します。



プレースホルダの色の変更

プレースホルダの色を変更するには、テキストエディタで `Mgdiff Legend` ファイルを編集します。このファイルは、Version Manager のインストール時に、`/bin/app-defaults` ディレクトリに置かれます。

Windows 版でのファイル間の競合の解決

デフォルトでは、Serena ChangeMan Merge Tool はすべての追加行、削除行、および変更行を自動的に出力（ターゲット）ファイルに挿入しますが、競合箇所は挿入しません。リビジョンのマージを正常に終了するには、すべての競合を解決する必要があります。

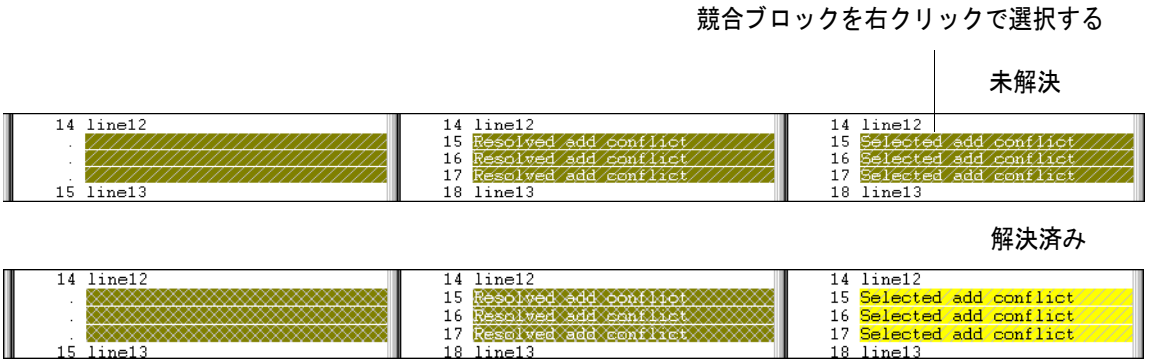
Windows 版では、ベースファイルと複数のブランチファイルとの間でテキスト行が異なっている場合に競合が起こります。どのブロックを採用するかは、Serena ChangeMan Merge Tool では判別できないので、どのテキストブロックを出力ファイルに入れるかをユーザが選択して、競合を解決する必要があります。

注記 競合を解決するには、ベースファイルとブランチファイルの相違点を区別しておく必要があります。ベースファイルとブランチファイルとの間の追加行、削除行および変更行を区別する方法については、73 ページの「Windows 版での相違点の解釈」を参照してください。

ベースファイルとブランチファイルとの間の競合を解決するには、次の操作を行います。

1. Serena ChangeMan Merge Tool の〔Frame（フレーム）〕ウィンドウで、〈Next Conflict（次の競合行）〉アイコン をクリックして競合のある次のブロックに進みます。

2 出力（ターゲット）ファイルに表示するテキストの部分を右クリックすることによって、競合を解決します。選択した競合行は色が変わり、不採用となったブロックのシェードが解決済みを示すシェードに変わります。



3 競合がすべて解決するまで、手順 1 ～ 2 を繰り返します。

4 出力（ターゲット）ファイルの内容をチェックします。適切な内容が出力ファイルにマージされているかどうか確認します。

5 ［File（ファイル）］－［Save Target（ターゲットの保存）］を選択して出力（ターゲット）ファイルを保存します。

UNIX 版でのファイル間の競合の解決

デフォルトでは、Serena ChangeMan Merge Tool はすべての追加行および削除行を自動的に出力（ターゲット）ファイルに挿入しますが、変更行は挿入しません。リビジョンのマージを正常に終了するには、すべての競合（変更行）を解決する必要があります。

UNIX 版では、ブランチファイルでテキスト行が修正された結果、この行の内容がブランチファイルとベースファイルとで異なることになり、競合が起こります。どのブロックを採用するかは、Serena ChangeMan Merge Tool では判別できないので、どのテキストブロックを出力ファイルに入れるかをユーザが選択して、競合を解決する必要があります。

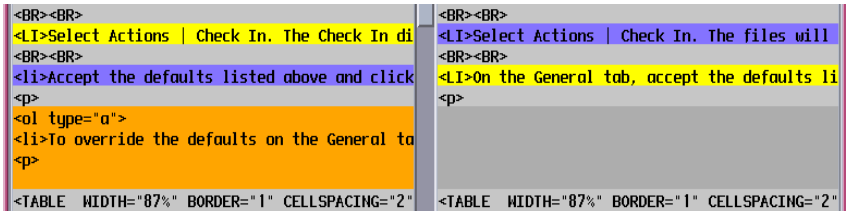
注記 UNIX 版では、「変更行」は「競合」とみなされるので、ユーザが解決する必要があります。

注記 競合を解決するには、ベースファイルとブランチファイルの相違点を区別しておく必要があります。ベースファイルとブランチファイルとの間の追加行、削除行および変更行を区別する方法については、75 ページの「UNIX 版での相違点の解釈」を参照してください。

ベースファイルとブランチファイルとの間の競合を解決するには、次の操作を行います。

1 〔Merge Tool〕ウィンドウで、競合する行をスクロールして表示します。

2 出力（ターゲット）ファイルに表示するテキストブロックを採用して、競合を解決します。採用した競合行は色が変わります。



3 すべての競合が解決するまで、手順 1 ～ 2 を繰り返します。

4 ［File（ファイル）］－［Save As（別名保存）］を選択し、【OK】をクリックして出力ファイルに競合の結果を保存します。出力パスまたはファイル名を入力し直す必要はありません。

索引

数字

5.3/6.0 フォルダ
- 削除 35
- 名前の変更 34
- プロパティの参照 36

5.3/6.0 プロジェクト
- 制限事項 15
- プロパティの参照 36

N

N 通りのマージ 68

S

Serena ChangeMan Merge Tool 68
Serena、問い合わせ先 6
SourceBridge 13

T

TeamTrack 13
TrackerLink 11

V

Version Manager Web クライアント 18
- オプション 50
- 機能 8
- クライアントアプレット 18
- 接続 18
- デスクトップクライアント 9
- 表示部 24

Version Manager Web クライアントと Version Manager デスクトップクライアント
- バージョンラベル 10
- プロモーショングループ 10

Version Manager Web クライアントと以前のリリース 15

W

Web ブラウザ
- クライアントアプレットのインストール 18

あ

アイコン、説明 27
アイテム
- 移動 33
- 削除 35
- 選択 33
- 名前の変更 34
- プロパティの参照 36

以前のリリース 15
移動、バージョン管理ファイル 33
エディタ、デフォルト 53
オンラインヘルプ
- アクセス 5
- コマンドラインインターフェイス用 5
- デスクトップクライアント用 5

か

解除
- フィルタ 47

概要
- Version Manager Web クライアント 8
- Version Manager Web クライアントのオプション 50
- マージ 68
- ワークスペース 54

規則、表記上 5
競合
- 解決
  - UNIX 版 77
  - Windows 版 76
- シェードの変更 75
- 種類 74

区切り文字、フィールド 52
クライアントアプレット 18
クライアントアプレットのインストール 18

さ

最下位のプロモーショングループ 58
再帰的フィルタ、ファイル 38
作業ファイル
- 追加 8
- 場所 56
- 比較 62

作業ファイルの追加 8
削除
- 5.3/6.0 フォルダ 35
- バージョン管理ファイル 35
- プロジェクト 35

サブプロジェクト、処理対象に追加 53
システム要件 16
自動ブランチ 57
出力ファイル 68
取得
作業ファイルよりも新しい場合にリビジョンを取得 52
消去、〔Results（結果）〕ダイアログボックス 53
ステータス表示部 32
製品サポート 6
設定
Version Manager Web クライアントのオプション 50
作業ファイルの場所 56
ページあたりのアイテム数 51
ワークスペース 55
ワークスペースプロパティ 54
選択
バージョン管理ファイル 33
プロジェクト 33
プロジェクトデータベース 33
リビジョン 33
相違点
解釈 64
表示 62
フィルタの基準
2 つのバージョンラベル 43
2 つのプロモーショングループ 44
バージョンラベルとプロモーショングループ 46
相違点レポート 8, 62
相違点レポート、「ファイルの比較」を参照 62

た

ターゲットファイル、「出力ファイル」を参照 68
チェックアウト 8
チェックイン 8
定義
デフォルトの取得オプション 52
デフォルトのチェックアウトオプション 52
デフォルトのチェックインオプション 52
デフォルトプロモーショングループ 58
デフォルトリビジョン 57
デフォルト
エディタ 53
デフォルトプロモーショングループ 58
デフォルトリビジョン 57
デフォルトワークスペース 55

な

内容表示部 25
名前の変更
5.3/6.0 フォルダ 34
プロジェクト 34

は

バージョン管理ファイル
移動 33
コピー 9
削除 35
選択 33
比較 62
フィルタ 37
プロパティの表示 36
バージョン管理ファイルのコピー 9
バージョンラベル 8, 10
フィルタの基準 40, 43, 44, 46
パスワード、変更 21
パブリックワークスペースとプライベートワークスペースの比較 54
比較、ファイル
概要 62
相違点の表示 62
例 65
62
相違点の解釈 64
比較ファイル、「ブランチファイル」を参照 68
比較、リビジョン 62
表記上の規則 5
表示
ファイル間の相違点 62
ファイルの再帰的な表示 38
表示部
ステータス 32
内容 25
プロジェクト 24
メニュー 29
リビジョン 26
ファイル
出力 68
比較 62
ブランチ 68
ベース 68
ベースファイルの選択 69
マージ 68
フィールド、説明 27
フィルタ
再帰的 38
相違点を基準
2 つのバージョンラベルを使用 43
2 つのプロモーショングループを使用 44
バージョンラベルとプロモーショングループを使用 46
バージョンラベル 40, 43, 44, 46
バージョンラベルを基準 40
プロモーショングループ 41
プロモーショングループを基準 41
ロック設定者 38
ロック設定者を基準 38
ワイルドカード 39
ワイルドカードファイル名を基準 39
フィルタ、バージョン管理ファイル 37

ブランチ
ファイル 68
ブランチ、自動セットアップ 57
プレースホルダ
UNIX 版での色の変更 76
Windows 版での色の変更 74
プロジェクト
削除 35
作成 8
選択 33
名前の変更 34
プロパティの参照 36
ログイン 21
プロジェクトデータベース
オープン 20
クローズ 22
選択 33
プロパティの参照 36
ユーザの変更 22
ログアウト 22
ログイン 20
プロジェクトデータベースからのログアウト 22
プロジェクトの作成 8
プロジェクト表示部 24
プロモーショングループ
Version Manager Web クライアントと Version Manager デスクトップクライアント 10
デフォルトプロモーショングループの定義 58
フィルタの基準 41
分離文字 フィールド 52
ページあたりのアイテム数、設定 51
ベース
ファイル 68
変更
パスワード 21
ユーザ 22

ま

マージ
N 通り 68
概要 68
競合
シェードの変更 75
種類 74
競合の解決
UNIX 版 77
Windows 版 76
結果の解釈
UNIX 版 75
Windows 版 73
種類 68
ファイルのマージ
Windows 版 69
プレースホルダ
UNIX 版 76
UNIX 版での色の変更 76
Windows 版 73
Windows 版での色の変更 74
ベースファイルの選択 69
マージプロセス 69
用語と定義 68
マージ、ファイル 68
メニュー表示部 29
元ファイル、「ベースファイル」を参照 68

や

ユーザロック
フィルタの基準 38

ら

リビジョン
作業ファイルよりも新しい場合に取得 52
自動ブランチ 57
取得 8
選択 33
定義、デフォルトリビジョン 57
比較 62
ロック 8
ロック解除 8
リビジョンの取得 8
リビジョン表示部 26
履歴レポート 8
ルートワークスペース 55
レポート
相違点 8, 62
履歴 8
ログイン
プロジェクト 21
プロジェクトデータベース 20
ロック 8
フィルタの基準 38
ロック解除 8

わ

ワークスペース
設定 55
パブリック 54
プライベート 54
ルート 54
ワイルドカードファイル名
フィルタの基準 39